

生命環境学群

生物学類

生物資源学類

地球学類

生命環境学際プログラム

生物学類

生物学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB00003	生物学実験	3	1.0	2	春C	木3-6	第二エリア	中野 賢太郎, 大橋 一晴, 横井 智之, 小林 達彦, 熊野 匠人	生物学の各分野から代表的な観察・実験の項目を選んで実施し、生命現象の基本について理解させる。	人数制限あり。教職課程(理科)履修者優先。履修希望者は6/10までに履修登録すること。学研災に加入していること。対面 EC12173, EC12623, EE11643, FB00143, FCA1923, FE00143, FF00633修得者の履修は認めない。	△	教員免許取得目的の者に限る	生物学類	
EB09113	生物学セミナーI: 雪国の冬の動物ガイド	3	1.0	1・2	春季休業中	集中	菅平	八畑 謙介, 佐藤 幸恵, 藤田 麻里	アニマルトラッキング、バードウォッチングや越冬動物の観察などを通して、典型的な中部山岳地帯の積雪期における動物を中心とした生物の生き様に触れ、生物に対する実物に即した認識を深める。A five-day residential course held at the Sugadaira Research Station. The aim of this course, through animal tracking, bird watching, collecting insects, is to provide genuine experience of the qualities of nature and wild animals in snowy areas.	英語で授業。2/23-2/27学研災に加入していること。対面 EB09103修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB09213	生物学セミナーII: 海岸動植物の観察	3	1.0	1・2	春季休業中	集中	下田臨海実験センター	谷口 俊介, 中野 裕昭	フィールドに出て海岸動物の採集と観察を行う。主に潮間帯の砂浜や磯において採集や計測を行い、実験室で生物の形態や行動の観察を行う。海岸の生物多様性と生物間の相互関係について学ぶことを目的とする。In this course at Shimoda Marine Research Center, students will survey marine animals on a rocky reef, and conduct field collections of planktonic and benthic animals. This will be followed by lectures and laboratory observations, providing a deeper understanding of marine life.	英語で授業。3/2-3/6学研災に加入していること。対面 EB09203修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB11851	植物生理学概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	第二エリア	岩井 宏暁, 小口 太一, 小野 道之, 菊池 彰, 香崎 拓哉, 鈴木 石根, 三浦 謙治, 渡邊 和男	This lecture describes the fundamentals of plant physiology, focusing on major physiological responses and their controlling factors in plants that cause various physiological responses by various environmental stimulus.	This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB12012	専門語学(英語)AI	2	1.0	2	春AB	水4	第二エリア	ウッド マシュー, クリストファー, 和田 洋, 小口 太一, 岡根 泉, 松崎 仁美	This course encourages students to take a more active and assertive approach to their studies and provides an opportunity to develop practical skills in information searching and oral presentation.	生物対象 英語で授業。 英語で授業。 対面	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB12122	専門語学(英語)AII	2	1.0	2	秋AB	水4	第二エリア	生物学類長	生物学のエッセイライティングや論文を丁寧に読解し、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングの基礎を学ぶ。将来、専門分野の論文・文献を読む際、大きな抵抗を感せずに取り組むことができるよう養成する。	生物対象 チューター制 対面	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB13012	専門語学(英語)BI	2	1.0	3	春AB	水4	各研究室	生物学類長	生物学に関する外国語の論文・文献などを将来十分に読みこなせるようになるための基本的な力を養う。そのために生物学各分野の論文・文献を教材にして、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングを練習し、また、必要と考えられる基礎的な生物学専門用語や表現方法をチューター制で詳しく学習する。	生物対象 チューター制 英語対応可(要相談) 対面(オンライン併用型)	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB13022	専門語学(英語)BII	2	1.0	3	秋AB	水4	各研究室	生物学類長	生物学に関する外国語の論文・文献などを将来十分に読みこなせるようになるための基本的な力を養う。そのために生物学各分野の論文・文献を教材にして、クリティカルシンキングやクリティカルリーディング、プレゼンテーションの能力を強化し、また、必要と考えられる基礎的な生物学専門用語や表現方法をチューター制で詳しく学習する。	生物対象 チューター制 対面(オンライン併用型)	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB13032	専門語学(英語)BIII	2	1.0	3	秋C 春季休業中	応談	各研究室	生物学類長	生物学演習の指導教員のもとで、生物学各専門分野の論文・文献をまとまった本数熟読し、クリティカルシンキングやクリティカルリーディングの力を養い、また、各専門分野の生物学専門用語や表現方法をチューター制で詳しく学習する。	生物対象 チューター制 履修登録は事務で行う。対面(オンライン併用型)	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB13114	科学コミュニケーションI	4	1.0	2	秋AB	木2	第二エリア	ウッド マシュー, クリストファー	To communicate science effectively it is important to have a clear understanding, in broad fundamental terms, of what science actually is, and how it is conducted. In this course we will confirm our own understanding of science, its strengths, and its limitations. We will then look at how science is presented to the general public, specifically how it is portrayed in the news and in other fictional media, and consider how this may affect public understanding and attitudes toward science. Students will be encouraged to develop their own ideas and opinions toward these complex topics.	生物対象 (for Students in Biology.) 履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 対面	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB13124	科学コミュニケーションII	4	1.0	3	春AB	木2	第二エリア	ウッド マシュー, クリストファー	This course will explore informal learning environments and their importance for science communication. We will discuss the merits and pitfalls of some new media formats for communicators and researchers to share their science.	生物対象 履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 対面	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB13214	科学コミュニケーションI	4	1.0	2	秋AB	水5	第二エリア	和田 洋	To communicate science effectively it is important to have a clear understanding, in broad fundamental terms, of what science actually is, and how it is conducted. In this course we will confirm our own understanding of science, its strengths, and its limitations. We will then look at how science is presented to the general public, specifically how it is portrayed in the news and in other fictional media, and consider how this may affect public understanding and attitudes toward science. Students will be encouraged to develop their own ideas and opinions toward these complex topics.	生物対象 履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面(オンライン併用型)	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB13224	科学コミュニケーションII	4	1.0	3	春AB	水5	第二エリア	和田 洋	This course will explore informal learning environments and their importance for science communication. We will discuss the merits and pitfalls of some new media formats for communicators and researchers to share their science.	生物対象 履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面(オンライン併用型)	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB13892	生物学演習	2	1.0	3	秋C 春季休業中	応談	各研究室	生物学類長	自主的な文献研究を中心として、専門分野に関するテーマの収集・分析、研究計画のため、研究方法等について個人で学習し、専門分野における問題解決力を修得する。レポート提出が義務づけられている。	生物対象 履修登録は事務で行う。対面(オンライン併用型)	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB14022	専門語学(英語)DI	2	1.0	4	春C秋A	応談	各研究室	生物学類長	卒業研究の指導教員のもとで、専門にかかわる外国語の論文などの読解力を養い、内容について討議し、あわせて外国語による表現力の養成を図る。	生物対象 履修登録は事務で行う。対面(オンライン併用型)	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB14032	専門語学(英語)DIII	2	1.0	4	秋BC	応談	各研究室	生物学類長	卒業研究の指導教員のもとで、専門にかかわる外国語の論文などの読解力を養い、内容について討議し、あわせて外国語による表現力の養成を図る。	生物対象 履修登録は事務で行う。対面(オンライン併用型)	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB14908	卒業研究	8	6.0	4	通年	応談	各研究室	生物学類長	指導教員の指導のもとに、テーマを設定して研究を進めることを通して、自ら問題を解決する能力を修得させる。	生物対象 留学等特別な事情があると認められた者が受講する場合に限り開講する。学研災に加入していること。履修登録は事務で行う。英語対応可(要相談)。対面	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB14918	卒業研究S	8	3.0	4	春ABC	随時		生物学類教員	指導教員の指導のもとに、テーマを設定して研究を進めることを通して、自ら問題を解決する基礎的な能力を修得させる。	学研災に加入していること。履修登録は事務で行う。英語対応可(要相談)。対面 卒業研究Sとセットで履修すること。	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB14928	卒業研究F	8	3.0	4	秋ABC	随時		生物学類教員	指導教員の指導のもとに、テーマを設定して研究を進めることを通して、自ら問題を解決する能力を修得させる。	学研災に加入していること。履修登録は事務で行う。英語対応可(要相談)。対面 卒業研究Sとセットで履修すること。	△	生物学類学生のための科目であるため	生物学類	
EB15124	理論生物学の基礎II	4	1.0	2-4	春C	木1,2		徳永 幸彦	生物現象の背後にある理論を理解する上で必要となる基礎を解説する。特に、生物現象を記述したりモデル化するための、現代数学の技術を紹介する。	生物学類生に限る。 20 程度を上限とし、履修の可否を試験等で(事前)判定することがある。 実施形態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 情報コース、オンライン(同時双方向型)	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB15134	理論生物学の基礎III	4	1.0	2-4	秋C	木4,5	第二エリア	伊藤 希	生物現象の背後にある理論の習得に必要な、形式論理学ならびに集合論について概説する。CO-BY-ND 4.0	生物学類生に限る。 20 程度を上限とし、履修の可否を試験等で(事前)判定することがある。 当該年度末に卒業を予定している者の履修は原則として認めない。 履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認すること。 情報コース、対面 指定された課題を事前になしていることを前提に、討論を中心としたいわゆる反転授業として実施する。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB15144	Practical Statistics in Biology	4	1.0	2・3	秋C	応談		アーヴィング ルイス ジョン		英語で授業。 Globeコース			生物学類	
EB15321	有機化学I	1	1.0	1	春AB	月3	第二エリア	臼井 健郎	生物学や有機化学を理解するために必要な基礎的な有機化学を修得させる。ここでは、有機化学の基礎である炭素と炭化水素化合物の特性から始め、アルコール、フェノール、エーテルまでを講義する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB15331	有機化学II	1	1.0	1	秋AB	金3	第二エリア	田中 俊之	生物学や有機化学を理解するために必要な基礎的な有機化学を修得させる。ここでは、カルボニル化合物を中心に、アルデヒドとケトン、カルボン酸とその誘導体及びアミンについて講義する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB50011	微生物学I	1	1.0	2・3	春AB	月2	第二エリア	豊福 雅典	初めて微生物学に接する学生のための入門講座。微生物の形・生理と名前、構造や系統分類など、微生物学の基本的な内容について解説する。次に、微生物によるエネルギーの獲得および消費を詳説する。	実施形態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 多様性コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB50021	微生物学I	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中	第二エリア	千葉 洋子	様々な微生物のゲノム比較研究の成果に基づき、微生物の系統進化およびエネルギー代謝の多様性と進化について概説する。そのもとで、個々の微生物の代謝的性質と生息環境との関連、微生物コンソーシアム、微生物と地球環境、真核生物の起源などのトピックスに焦点をあて、最新の知見を紹介する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。9/18-9/19 多様性コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB50111	動物系統分類学I	1	1.0	2・3	春AB	水3	第二エリア	八畑 謙介	生物の中でも複雑な体制を発達させた動物。その動物界を構成する全ての動物門について多様な体制と生活史を概観し、進化の進捗を考察する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。多様性コース、対面(オンライン併用型) EB50511修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB50121	動物系統分類学II	1	1.0	2・3	秋AB	水3	第二エリア	和田 洋、中野 裕昭、本多 正尚、守野 孔明	動物系統分類学Iで学んだ多細胞動物の体制について、より深く進化的な視点から学んでいく。特に、多細胞体制の進化、左右相称動物の進化、脊索動物の起源、脊椎動物の起源、分類学の理論的な背景などを取り上げる。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。多様性コース、対面(オンライン併用型) EB50131, EB50171修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB50211	植物系統分類学I	1	1.0	2・3	春AB	金2	第二エリア	石田 健一郎	植物界を構成する多様な分類群を系統分類学的視点より各論的に詳説し、各分類群の認識を深める。緑藻類と陸上植物を中心に学ぶ。 Diversity, classification, morphology, ultrastructure, life history and phylogeny of non-green algae - glaucophytes, rhodophytes, cryptophytes, chlorarachniophytes, euglenophytes, dinoflagellates, haptophytes, and stramenopiles.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。多様性コース、Globeコース、I・II・IIIを過年で履修することが望ましい。対面 EG20211修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB50221	植物系統分類学II	1	1.0	2・3	秋AB	金2	第二エリア	中山 剛	植物界を構成する多様な分類群を系統分類学的視点より各論的に詳説し、各分類群の認識を深める。緑藻類と陸上植物を中心に学ぶ。 Diversity, classification, morphology, ultrastructure, life history and phylogeny of green plants, including chlorophytes and land plants.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。多様性コース、I・II・IIIを過年で履修することが望ましい。対面 EG30221修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB50231	植物系統分類学III	1	1.0	2・3	秋C	木1,2	第二エリア	出川 洋介	キノコ、カビ、コウボなど、真菌類(動物と姉妹群をなす単系統群としての菌界Kingdom Fungi)という生物について総論的に概説した後に、各々の門ごとに、全分類群の多様性と系統分類を各論的に紹介する。現存種数約10万種、推定総種数150万・500万ともいわれる真核微生物の一角である菌類が如何にしてこのように多様化したのか、映像資料も参照しながら体系的に理解を深める。	多様性コース、I・II・IIIを過年で履修することが望ましい。対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB51111	動物生態学I	1	1.0	2・3	春AB	火1	第二エリア	徳永 幸彦、佐藤 幸恵	伝統的な個体群動態論の基礎を簡単な数学モデルを用いて説明するとともに、生活史や生存戦略の実例を紹介し、生物の進化について、個体、個体群、群集など様々なレベルから解説する。	実施形態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。多様性コース	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB51121	動物生態学II	1	1.0	2・3	秋AB	火1	第二エリア	横井 智之、藏満 司夢	地球上には多くの生物が存在し、複雑な相互関係をもって生活している。さまざまな生物の生活史や行動習性を例に挙げて解説し、生物個体のふるまいから個体群や群集の構造と機能の基礎、生物保全のためのアプローチまでを理解する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。多様性コース、対面 EB51131修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB51211	植物生態学I	1	1.0	2・3	春AB	月3	第二エリア	大森 裕子	海洋に生息する海藻(藍)および植物プランクトンの生態について、特にそれらの物質代謝の特徴と海洋環境との関係を中心に理解深める。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。多様性コース、対面 EB51021, EG31021修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB51221	植物生態学II	1	1.0	2・3	秋AB	水2	第二エリア	大橋 一晴、田中 健太	草や樹が子孫を残すために行っている実に様々な繁殖戦略を紹介した上で、それを理解する基本となる理論の概説、生態学に分子生物学的な手法を取り入れた分子生態学の最新成果の紹介、生物多様性保全問題についての解説を行う。また、花粉の運搬を担うポリネーターと植物の利害の不一致という観点から、動物の採餌行動をつかさどる原理やその認知生理学的基盤に関する知見をもとに、花がたどった進化をさぐる「花生学」の最近の潮流を紹介する。	奇数年度は日本語、偶数年度は英語で開講。 実施形態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。多様性コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB51231	植物生態学III	1	1.0	2・3	秋C	月2,3	第二エリア	廣田 充、増本 翔太	植物、それを取り巻く非生物および生物的な環境、そして植物と環境の相互作用の3つに焦点をあてて、植物の生態を理解するうえで重要な概念を基礎的な知識から具体例を挙げつつ解説していく。近年問題となっている地球環境変動が植物および陸上生態系に及ぼす影響について、最新の研究成果とともに解説していく。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。多様性コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB52011	進化遺伝学I	1	1.0	2・3	春AB	水2	第二エリア	澤村 京一	生物の進化を遺伝学的な視点に立って理解する。そのために必要な遺伝学の基礎知識を復習するとともに、集団遺伝・進化遺伝・量的遺伝の初歩を学ぶ。進化の原動力とも言える種分化に的を絞る、最新の話題を提供する。	詳細はシラバス、manabaを確認のこと 多様性コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB59101	プロティストロジー(原生生物学)特講	1	1.0	2-4	秋C	金2,3	第二エリア	石田 健一郎, 桑山 秀一, 出川 洋介, 中山 剛, 矢吹 彬憲	真核生物の細胞がもつ基本的な構造と機能の大部分は、プロティスト(原生生物)の進化の過程で獲得された。本講義では、進化において重要な位置にあるプロティストの多様性、細胞の構造と機能、進化、生態系での役割等を最新トピックを交えてわかりやすく解説し、プロティストについての知識を深め、プロティストの面白さと重要性の理解を目指す。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 多様性コース、対面EG39101修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB59131	脊椎動物進化学	1	1.0	2-3	秋AB	水2	第二エリア	鈴木 大地	脊椎動物の誕生から始まる多様な形態の進化の歴史を古生物学的な知見から概説する。とくに、地球環境の変動や陸上への進出など、環境に応じた体制の進化についての理解を深めることを目指す。 脊椎動物進化学、主に古生物学的な知見に基づいた進化の歴史を概説する。 脊椎動物形態学、比較形態学の知見に発生学的な知見を交えて、主要な形態の特徴の進化を概説する	多様性コース、対面EB59151修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB59141	脊椎動物形態学	1	1.0	2-3	秋C	木4,5	第二エリア	鈴木 大地, 矢野 十織	多様な脊椎動物の形態を比較して、その進化生物学的な背景を解説する。特に、脊椎動物の起源、無顎脊椎動物の多様性、硬骨魚類の鰭形態、陸上化に伴う形態進化、哺乳類の多様性、海棲哺乳類の進化について、比較形態学的な視点から解説する。	西暦偶数年度は日本語で授業。西暦奇数年度は英語で授業。 履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 多様性コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB59151	Vertebrate Evolution	1	1.0	2-4	秋AB	月3	第二エリア	アーヴィング ルイス ジョン	This course looks at the major transitions during vertebrate evolution, particularly focussing on the transition between water and land, and the adaptations which facilitated that transition. The diversification of animal life on land, and the subsequent return of some groups to water will be studied. This course will have a strong evolutionary biology focus.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 多様性コース、対面EB59151修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB59161	節足動物学特講	1	1.0	2-3	秋C	水2,3	第二エリア	八畑 謙介	生物で最も大きな種多様性を誇る節足動物。その節足動物門を構成する全分類群とそれらの多様な体制を概観し、進化の道すじを考察する。	TWINS や manaba を介して公開される情報に注意していただきます。 西暦奇数年開講。 多様性コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB60014	プログラミングI	4	1.0	2-3	秋AB	木1		徳永 幸彦	生物現象を記述したりモデル化するための、基本となるプログラミング技術を解説し、簡単な個体ベースモデルを構築するための技術を紹介する。 In this lecture, students learn programing techniques for manipulating a variety of data. They will also learn simulation techniques with individual-based models. The programming language used is Ruby.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 情報コース、オンライン(同時双方向型)EG20014修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB61011	生物物理学I	1	1.0	2-3	春AB	金3	第二エリア	伊藤 希	生命現象を支える分子集合状態の巧妙で温かな反乱系の散逸緩和過程について、情報とエネルギーの流れの観点から検討する。	FCG3901と同一。 情報コース、対面指定された課題を事前になさっていることを前提に、討論を中心としたいわゆる反転授業として実施する。FC13801修得者の履修は認めない。 内容的に生物物理学IIとは互いに独立であり、生物物理学IIのみを履修しても支障はない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB61021	生物物理学II	1	1.0	2-3	秋AB	水1	第二エリア	庄司 光男	生物物理学IIでは、生体機能を司るタンパク質や核酸、生体膜などの分子構造やその性質を理解するとともに、それらの生体機能を実験的に、あるいは理論的に解析する方法について学ぶ。	FCG3911と同一。 情報コース、対面FC13811修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB62011	ゲノム生物学I	1	1.0	2-3	春AB	火1	第二エリア	桑山 秀一	ゲノムは生物の性質を決める遺伝情報の総体である。この授業では、「ゲノム」の成り立ちおよび構造と機能について学ぶが、ゲノム解析に必要な分子生物学とバイオインフォマティクスの手法にも力を入れて解説する。 Lectures will cover basic knowledge on the structure and function of the genome, as well as technologies for DNA and genome analyses.	英語で授業。 情報コース、対面EG2011修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB62021	ゲノム生物学II	1	1.0	2-3	秋AB	火2	第二エリア	中村 幸治	ゲノムを構成する各遺伝子は、協調的に発現されて、その生物学的機能が活用されなければならない。この授業では、クロマチン構造が、ゲノム発現に及ぼす影響や原核生物と真核生物における転写機構の相違点について学ぶ。さらに、転写後のRNAの運命を概観し、ゲノム情報の可変性・多様性が起因する機構について解説する。	情報コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB62031	ゲノム生物学III	1	1.0	2-3	春AB	火2	第二エリア	中田 和人	ゲノムを有するオルガネラの生物学的特性とその異常による病態発症機構について最新の知見を交える。さらに遺伝子発現やシグナル伝達などに係わる種々の制御機構について分子レベルで解説する。	情報コース、対面EB71111修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB62104	バイオインフォマティクス	4	1.0	2・3	春季休業中	集中		重信 秀治, 守野孔明, 頼本 隼汰	バイオインフォマティクスは、情報科学的視点から生物学上の重要な問題を定式化し、コンピュータと大規模データを用いて解決する分野である。この講義では、特にゲノム・トランスクリプトームといった大規模な配列情報の解析の原理・有用性・活用法の基礎について、講義および演習を通じて学ぶ。	授業言語は英語（日本語対応可） 20名程度を上限とし、必要に応じ履修制限のための事前評価を行う事がある。その際には、生物学類（特に情報コース）の標準履修年次の学生を優先する。 英語で授業。 2/19、20 情報コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB62201	システムバイオロジー	1	1.0	2-4	夏季休業中	集中		大 浪 修一	分子間反応の集積として生じる生命現象の一つのシステムとして捉え、遺伝子発現制御、細胞発生、細胞間の同期等を計算機を用いて解析する新しい生物学について、その手法と結果を紹介する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 9/17-9/18 情報コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB63031	生物多様性情報学	1	1.0	2・3	秋C	火2,3	第二エリア	伊藤 希	生物多様性に関する情報学のうち、分類学と直接かかわる生物多様性データベースを中心に取扱う。話題はデータベースに関する技術的なものから、言語哲学、集合論、分類学をめぐる社会学など多岐にわたる。CC-BY-ND 4.0	当該年度末に卒業を予定している者の履修は原則として認めない。履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認のこと。 情報コース、対面 指定された課題を事前にこなしていることを前提に、討論を中心としたいわゆる反転授業として実施する。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB63111	分子進化学I	1	1.0	2・3	春AB	月2		稲垣 祐司	分子進化学はDNAやタンパク質などの情報高分子に基づいて生物の進化を解明することを目指す研究分野である。本講義では、分子進化の基礎概念および分子系統樹法の基礎について解説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください 英語で授業。 情報コース、GloBEコース、オンライン(対面併用型)	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB63121	分子進化学II	1	1.0	2・3	秋AB	月2		稲垣 祐司, 原田 隆平	分子進化学IIに引き続き、分子系統樹法のうちとくに最尤法について詳細な内容を解説し、生物の系統進化研究への具体的な応用例を紹介する。また、分子系統樹法と立体構造の情報を組み合わせタンパク質機能予測解析の背景から実例までを解説する。(生物サテライト室にて随時演習を行う。)	試験のみ対面実施の予定。 人数制限(40名程度)あり、制限を越えた場合は生物学類生を優先。 情報コース、オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB63131	分子進化学III	1	1.0	2・3	秋AB	月3	第二エリア	平川 泰久, 守野孔明	分子進化学分野の2つのトピックスについて解説する。1)共生と分子進化:細胞内共生による葉緑体の誕生において、共生である光合成生物が葉緑体へとオルガネラ化する過程を分子進化の面から解説する。2)発生と分子進化:動物の多様なボディープランは、発生過程の進化によってもたらされており、分子レベルで記述することが可能である。このような分子発生進化学の研究の現状を解説する。	情報コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB63141	進化発生生物学	1	1.0	2・3	春AB	月3	第二エリア	和田 洋	この授業では、ゲノムの分子進化と形態の進化がどのように関連しているかについて焦点を当て、多様な分子進化プロセスについて学んだ後、発生過程で、ゲノムの情報からどのように読み出され形態を構築するかを学ぶ。分子進化と発生生物学について学んだことを統合し、形態進化がゲノムの分子進化として説明されたいくつかのトピックを紹介する。 This course will focus on how molecular evolution of the genome and evolution of the morphology are related. After learned about several kinds of molecular evolutionary processes, students will learn how the genome construct the 3D morphology during embryogenesis. Combining what they learned about molecular evolution and developmental biology, students will learn several topics where the morphological evolution is linked with the molecular evolution of genome.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 情報コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB63151	進化発生生物学	1	1.0	2・3	秋C	水4,5	第二エリア	和田 洋	この授業では、ゲノムの分子進化と形態の進化がどのように関連しているかについて焦点を当て、多様な分子進化プロセスについて学んだ後、発生過程で、ゲノムの情報からどのように読み出され形態を構築するかを学ぶ。分子進化と発生生物学について学んだことを統合し、形態進化がゲノムの分子進化として説明されたいくつかのトピックを紹介する。	情報コース、対面			生物学類	
EB64011	数理生物学I	1	1.0	2・3	春AB	木3	第二エリア	大橋 一晴	生物学の研究で扱われるデータのほとんどは、全体の一部だけを調べる「標本調査」によって得られる。本講義では、このようなデータの処理に必要な統計学の初歩的な知識と、その背景となる基本概念について解説する。	情報コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB64021	数理生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	金3		徳永 幸彦	生物現象を記述するための統計的手法として、ランダム化サンプリングなどのコンピュータを駆使したノンパラメトリックな手法を解説する。 This lecture introduces the dark side of statistics. Starting with randomization techniques, students learn relationships among different domains of statistical ideas: parametric, nonparametric, null hypothesis significance testing, information-theoretic methods, and the Bayesian methods.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 情報コース、オンライン(同時双方向型) EG34021修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB64111	理論生態学	1	1.0	2・3	春AB	木1		徳永 幸彦	数理モデルなどによる理論的研究と、野外データに基づく生態学的研究の橋渡しをする手法として、実験個体群を用いた理論生態学的研究を紹介する。 This course illustrates theoretical aspects of ecology with examples of laboratory experiments to connect mathematical expressions with ecological phenomena in nature.	実施形態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 情報コース、オンライン(同時双方向型) EG34111修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB69401	理論集団遺伝学	1	1.0	2・3	秋C春季休業中	集中		徳永 幸彦	集団遺伝学は 20 世紀初頭にダーウィンの進化理論とメンデルの遺伝理論とを統合する研究体系として誕生し、進化機構論の理論的な支柱として発展を遂げた。ゲノム解析の進む今日、育種や医療に関する応用研究も盛んに進められている。本講義では、集団遺伝学理論の初歩を解説し、集団中に存在する遺伝的な変異を素材に、生物の多様性が進化する仕組みを講義する。中でも、生物進化において偶然が果たす役割を理解することを主要な目標とする。	実施形態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 西暦奇数年度開講。 2/16, 2/18 情報コース、オンライン(同時双方向型)	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB71011	細胞生物学I	1	1.0	2・3	春AB	金3	第二エリア	中野 賢太郎	細胞はすべての生物の基本構成単位である。本講義ではおもに、1)細胞の形づくりと運動を担う細胞骨格とモータータンパク質、2)細胞の内外を隔て必要な物質と情報をやりとりする細胞膜と膜タンパク質、3)細胞分裂と細胞周期、4)細胞接着と組織形成の基本的な仕組みについて解説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 分子細胞コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB71021	細胞生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	月2	第二エリア	三浦 謙治、鶴田文憲、石川 香	癌化や老化およびアポトーシス(細胞死)などの細胞に起こる増殖・形態・機能変化の具体的な現象を例にとり、主に細胞の増殖制御に関わる分子メカニズムについて、分子細胞生物学的視点から分かり易く解説する。	奇数年：日本語 偶数年：英語 分子細胞コース、対面 EB71121修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB71031	細胞生物学III	1	1.0	2・3	秋AB	木3	第二エリア	千葉 智樹	生命活動の実行因子であるタンパク質は動的な平衡状態にあり、その制御にはタンパク質の合成経路のみならず分解経路が関与する。種々のタンパク質は選択的に分解されており、その制御は生体の恒常性維持など生命の生存に必須である。本講義では、選択的タンパク質分解を制御する分子機構とその生理的重要性を最新の知見を交えて解説する。 Proteins are in a dynamic state, which is regulated by protein synthesis and degradation pathways. Each protein is degraded in a degree of selectivity, and its regulation is essential for the cell homeostasis and viability. In this class, we will learn the latest findings on the molecular mechanism of selective protein degradation and its physiological importance.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 分子細胞コース、Globeコース、対面 EB71131, EG35131修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB72111	発生生物学I	1	1.0	2・3	春AB	水1	第二エリア	丹羽 隆介、小林 悟、笹倉 靖徳、谷口 俊介	本授業では、動物発生過程に必要な遺伝子レベル・細胞レベル・組織レベルのメカニズムの基礎を学ぶ。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 分子細胞コース、人間生物コース、対面(オンライン併用型)	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB72121	発生生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	火3	第二エリア	丹羽 隆介、小林 悟、笹倉 靖徳、谷口 俊介、岡本 直樹、佐奈喜 祐哉	動物発生生物学の重要なトピックをいくつか取り上げ、その内容を理解するとともに、最先端の発生生物学の現状を知る。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 英語で授業。 分子細胞コース、人間生物コース、Globeコース、対面(オンライン併用型)	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB72211	生殖生物学I	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中	第二エリア	稲葉 一男、柴 小菊	形態的にも機能的にも極端に分化したい遅性配偶子である精子の形成、分子構築、運動機構、細胞内シグナル伝達、卵との相互作用について最近のトピックスも交えながら解説する。受精環境に伴う精子の形態、機能の多様化についても概説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 2026年度以降開講せず。 8/25-8/26 分子細胞コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB72911	海洋生物学I	1	1.0	2・3	春AB	水3	第二エリア	稲葉 一男, Harvey Benjamin Paul	Lecture will give you several topics on physical, chemical and biological properties of ocean to understand the physiology, reproduction, development, biodiversity and ecology of marine invertebrates and fish. This class will especially focus on the following aspects of marine life: life cycle, locomotion, sensory reception, biomineralization, biogeochemical distribution, photosynthesis, respiration, calcification, nitrogen fixation and the impact of climate change. We will give examples of marine organisms under planktonic and benthic conditions and coral reef. The history and present situation of marine biology research will be also included.	英語で授業。 分子細胞コース、Globeコース、対面 EG22911修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB72921	海洋生物学I	1	1.0	2・3	秋AB	水3	第二エリア	笹倉 靖徳, 谷口 俊介, 柴 小菊, 中野 裕昭, Harvey Benjamin Paul, 香川 理	Lecture will provide several topics on marine organisms, including fertilization, cilia and flagella, gene-manipulation, development, self-non-self recognition, evolution, animal behavior, population ecology and marine environment. The teaching staff of Shimoda Marine Research Center will tell you about recent progress of their own research.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 分子細胞コース、オンライン(対面併用型) EG32921修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB73111	動物生理学I	1	1.0	2・3	春AB	月1	第二エリア	千葉 親文, 櫻井 啓輔	動物は多様かつ変化する環境の中で生きている。動物の行動を制御する神経系は、生物が進化させた環境適応の仕組みの中で、最も優れたもの一つである。本講義では、神経系の動作原理と多様性について理解するため、ニューロンの電気的膜特性とシナプスにおける信号伝達の様式について学ぶ。次に、これらの理解を基礎として、神経系がどのように環境から信号(刺激)を受容し、情報を統合するのか(知覚)、どのように情報を保持するのか(記憶と学習)、どのように環境に働きかけるのか(運動)について学ぶ。	実施形態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 分子細胞コース、オンライン(同時双方向型) FC13831修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	○
EB73121	動物生理学II	1	1.0	2・3	秋AB	月1	第二エリア	丹羽 隆介, 岡本 直樹	動物の様々な生命現象のホメオスタシス(恒常性)を支える代謝、自律神経、内分泌系、そして臓器連環の重要性を学ぶ。	manabaでの連絡やTwins掲示板を随時注視すること 分子細胞コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB74111	植物生理学I	1	1.0	2・3	春AB	金1	第二エリア	アーヴィング ルイス ジョン, 古川 純, 三浦 謙治, 小野 道之	In this lecture, the relationship between various physiological phenomena and the environmental factors in the life history of higher plant will be overviewed for the understanding from the viewpoint at whole plant to cell levels with adding the latest molecular biological findings.	英語で授業。 分子細胞コース、G10Eコース、対面 EG24111修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB74131	植物生理学II	1	1.0	2・3	秋AB	金1	第二エリア	壽崎 拓哉	近年飛躍的に研究が進んでいる高等植物の分裂組織形成・器官分化制御機構、受粉・受精の機構、自家不和合性、植物微生物共生等の植物生理学上の重要な課題に焦点を絞りつつ、植物生理学の最近の進歩を紹介する。 This lecture introduces several important topics for your further understanding of plant physiology, which includes recent advances in the research of vegetative and reproductive development, and symbiosis with microorganisms in higher plants.	実施形態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 植物生理学II (EB74131)は、2023年度より奇数年度は日本語、偶数年度は英語で開講となります。 分子細胞コース、オンライン(対面併用型) 1-5回目: 岩井 オンデマンド 6-10回目: 壽崎 対面 EG34131修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB74211	代謝生理化学I	1	1.0	2・3	春C	集中	第二エリア	鈴木 石根	細胞の基本的な物質およびエネルギー代謝および制御系について解説する。特に、炭素代謝、窒素代謝、硫黄代謝等の一次代謝系に焦点を合わせる。先端研究の例を取り上げつつ講義をすすめるが、生化学の基礎知識の充実に資するよう丁寧な解説を行う。 The main topics for this course will be photosynthetic energy conversion, primary and secondary carbon metabolism including C3, C4 and CAM metabolisms, photorespiration, and mitochondrial respiration.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is planned as face-to-face, but it may be changed to online depending on the situation. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 7/11-7/12 分子細胞コース、G10Eコース、対面 EG24211修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB74221	代謝生理化学II	1	1.0	2・3	秋AB	木1	第二エリア	養田 歩, アーヴィング ルイス ジョン	すべての生命活動を支える「代謝」について概説する。前半では、(1)異化と同化、(2)エネルギー変換、(3)栄養素の輸送と同化、(4)代謝経路の制御の4つのテーマを取り上げる。後半では、光合成の環境制御(光応答、CO2応答)への理解を深め、植物の異なる環境への適応を理解することを目的とする。主要な話題として、微生物と植物を扱うが、細胞代謝の基本は全ての生物で共通である。代謝生化学コースIを受講していない学生も歓迎する。 This course provides an overview of metabolism, which supports all life activities. In the first part of the course, we will discuss the following four topics: (1) Catabolism and Anabolism, (2) Energy conversion, (3) Nutrient transport and Assimilation, (4) Regulation of metabolic pathways. At the latter part, we will explore the environmental regulation of photosynthesis (light response, CO2 response) with the goal of understanding plant adaptations to different environments. We are welcome the students who did not take Metabolic Biochemistry Course I.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 This lecture is carried out face to face. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 英語で授業。 分子細胞コース、対面 EB74231, EG34231, EG34221修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB80011	生物化学I	1	1.0	2・3	春AB	水2	第二エリア	田中 俊之	生物有機化学や生物科学、更には食品科学に関連する研究において重要な役割を果たす分析手法(紫外可視分光法、赤外分光法および質量分析法)の基礎を解説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB80021	生物化学II	1	1.0	2・3	秋AB	水2	第二エリア	田中 俊之	生物有機化学や生物科学、更には食品科学に関連する研究において重要な役割を果たす分析手法(核磁気共鳴分光法他)の基礎を解説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB80211	生物活性化学I	1	1.0	2・3	春AB	月1	第二エリア	臼井 健郎	微生物、動植物が生産する天然低分子化合物のうち、主に人の治療目的に研究・開発されている化合物を中心に、その発見と標的分子解明までの道筋、作用機構について、また基礎生物学に与えた影響について解説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB81111	生体機能分子学I	1	1.0	2・3	春AB	火3	第二エリア	小林 達彦、水野 聖哉、鈴木 颯	本講の2/3は、微生物における代謝生理、ゲノムプロジェクト、DNAチップによる生体機能の解析、分子進化工学を概説する。また、酵素・タンパク質の機能や遺伝子発現制御を分子レベルで解説するとともに、それらの物質生産への応用を概説する。残りの1/3では、生体機能解析のための動物における発生工学を概説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB81121	生体機能分子学II	1	1.0	2・3	秋AB	月3	第二エリア	谷本 啓司、松崎 仁美	哺乳動物の機能分子による生体調節、遺伝子発現制御メカニズムやエピソード、幹細胞やゲノム編集などの発生工学に関する基礎から最新の知見までを紹介する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB82011	機能微生物学I	1	1.0	2・3	春AB	金2	第二エリア	岡根 泉	微生物は自然界の様々な場所で生活しており、その生活様式も多様である。そのうち他の生物に寄生している微生物の生理的・生態的機能について解説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB82021	機能微生物学II	1	1.0	2・3	秋AB	火1	第二エリア	岡根 泉	微生物は自然界の様々な場所で生活しており、その生活様式も多様である。そのうち他の生物と相利または片利共生している微生物ならびに特定の環境下で産生生活している微生物の生理的・生態的機能について解説する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB82111	動物制御学I	1	1.0	2・3	春AB	金1	第二エリア	藏満 司夢	昆虫の消化系、呼吸系、循環系、神経系、生殖系、食性、栄養、変態、休眠、感覚、行動などの生理機能について概説し、昆虫の体のしくみを理解する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB82131	化学生態学	1	1.0	2・3	秋AB	金4	第二エリア	横井 智之、松山 茂、山路 恵子、木下 奈都子、藏満 司夢	植物と昆虫、植物と微生物、昆虫と昆虫などの個体間相互作用について、同種間で作用するフェロモン、数種間で作用するアレロケミカルなどを中心に化学的側面からの様々な現象を紹介する。 This lecture introduces chemical aspects of relationships between individual insects, animals, plants and microorganisms of the same (pheromone) or different (allelochemicals) species.	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。英語で授業。応用生物コース、対面 EG32131修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB83111	植物バイオテクノロジーI	1	1.0	2・3	春AB	水1	第二エリア	菊池 彰、渡邊 和男、小野 道之	植物に関するバイオテクノロジーを身近な事例を基に紹介し、従来の技術との比較や科学的要打情報を提供することにより本技術に対する理解を促す。	日本語で実施。 COVID-19の感染状況等により授業形態や授業内容を変更する可能性があります。履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、対面 EB83141修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB83121	植物バイオテクノロジーII	1	1.0	2・3	秋AB	水1	第二エリア	小野 道之、小口 太一、壽崎 拓哉、菊池 彰	植物の持つ能力を最大限に活かし、さらに新しく改良するため、人類はさまざまな試みを展開してきた。植物バイオテクノロジーと総称できる多様な挑戦について、歴史、現状、将来展望などについて紹介する。	応用生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB83131	バイオテクノロジーリテラシー	1	1.0	2・3	秋AB	火3	第二エリア	渡邊 和男、菊池 彰、小野 道之、小口 太一	生物科学と社会をつなぐ多様な事項を概説する。バイオテクノロジーと関連産業について紹介する。生物科学に係る知的所有権、法律や規制等について俯瞰する。生命倫理、環境倫理等や科学者の社会対話について事例を検討する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。応用生物コース、ODP、G科目、対面(オンライン併用型) EB83161修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB83161	バイオテクノロジーリテラシー	1	1.0	2・3	春C	集中		渡邊 和男、菊池 彰、小野 道之、小口 太一	Topics covering ethical, legal and social issues in life & environmental sciences.	オンライン(オンデマンド型)の配信はありません。他の科目と曜時間が重なる場合は履修できません。 No online (on-demand) delivery. This course cannot be taken if it clashes with another course with overlapping times. See Syllabus or recent information from manaba for detail. 西暦奇数年度開講。英語で授業。 7/8、7/10 応用生物コース、ODP、G科目、オンライン(対面併用型) EB83131、EG23131修得者の履修は認めない。	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB89101	酵母の分子生物学特講	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中			微生物の中でも、真核生物の生命現象を分子レベルで解析する上で重要な酵母(特に出芽酵母)の遺伝学、遺伝子工学、分子生物学、細胞生物学に関する基礎的事項について、応用も含めて講義する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。西暦奇数年度開講。 9/16-9/17 応用生物コース	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EB91121	神経解剖学	1	1.0	2・3	秋AB	金2	第二エリア	武井 陽介, 樹 和子, 佐々木 哲也	ヒトを含む哺乳動物中枢神経系の構造と機能, 個体発生について概説する。この講義の狙いは、「脳研究」への基礎知識と足掛かりを与えることにある。	実施様態の詳細など、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。人間生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB91271	免疫生物学	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中		渋谷 彰, 渋谷 和子, 小田 ちぐさ, 松田 研史郎	免疫(生物)学全般を概説する。免疫系を構成する細胞の分化, 免疫グロブリン・T細胞レセプター・単体分子などの抗原認識分子の構造と機能を学び、脊椎動物の精緻な免疫系がどのように進化してきたかを考察する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。8/28-8/29 人間生物コース、オンライン(オンデマンド型)	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB91321	寄生生物学	1	1.0	2・3	秋C	金4,5	第二エリア	大前 比呂恵, 奈良 武司, 永宗 喜三郎, 有末 伸子	主要な人体寄生性原虫・細菌の生活環における感染と宿主特異性, 免疫応答, 病毒性などについて学び、さらに、寄生現象における媒介動物の生物学的意義を理解する。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。人間生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB91411	細菌学	1	1.0	2・3	秋AB	金1	第二エリア	森川 一也	肉眼では直接見ることのできない細菌がどのようにして生命現象を営むか、分子レベルで概観する。また、それらが、どのように人と関わり合うか、益と害を知り、病原性, 抗菌剤, ワクチンなどの基本的事項を学ぶ。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。人間生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB91521	ウイルス学	1	1.0	2・3	秋AB	水1	第二エリア	川口 敦史, 加藤 広介	生物と無生物の境界にあるウイルスの生物学的特性を学び、それが生体に寄生して増殖する時、生体どのような変化が起きるかについて、病原性、遠隔毒性なども含めて、可能な限り分子生物学的レベルで基本的事項を学ぶ。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。人間生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB92121	人類学	1	2.0	2・3	秋AB	金3,4	第二エリア	中田 和人, 足立 和隆, 米田 穣, 坂上 和弘, 神澤 秀明, 水野 文月, 藤田 祐樹, 森田 航	本講義では、霊長類としてのヒトの位置づけとその進化をマクロ(形態学、生体力学、生態学)とミクロ(分子生物学)の観点から学外の専門の先生方も加え、幅広く概説する。	人間生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	
EB99181	人体発生学特講	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中	第二エリア	鈴木 大地, 原田 理代	人体発生の過程は複雑である。講義では、生殖細胞の形成, 受精より着床および胎盤形成の過程と主要器官の発生を、できるだけ平易に扱い、人体構築の理解の基礎について述べる。	履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。9/24-9/26 人間生物コース、対面	△	設備等の都合により受け入れ不可能な場合もあり得るので、事前に当該科目の担当教員の許可を得ること	生物学類	

生物資源学類

専門基礎科目(選択)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC12061	資源生物学	1	1.0	1	秋C	木1,2	第二エリア	内海 真生, 福田直也, 津田 吉晃, 中村 顕, 野村 暢彦, 加香 孝一郎	高等学校までの授業で学んだ生物学の諸分野の知識をより体系的に修得できるように、また、生物資源(畜産)と関連の深い分野の生物学に関する基礎的な内容について体系的に講義する。	定員120名。生物資源学類生および教員免許 理科(中学校・高等学校教諭一種)・農業(高等学校教諭一種)取得希望者優先。2026年度以降開講なし。対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	
EC12131	化学	1	3.0	1	春ABC 秋ABC	水2 木3	第二エリア	梶山 幹夫, 松山 茂, 小川 和義, 南雲 陽子	酸と塩基、化学平衡、酸化還元反応など化学の原理一般にわたり、分析化学の基礎となる「一般化学」に加え、化学現象をエントロピー、エンタルピーを用いて説明する「物理化学」の一部と、原子や分子の構造、化学結合の本質などを学ぶ「量子化学」の一部と、炭素化合物やアルコールなどを対象とした「有機化学」の一部とを併せて講義する。	EC12101、EC12111、EC12121を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC12162	数理学演習	2	1.0	1	秋AB	水3	第二エリア	小林 幹佳	生物資源学類に関連した数学の基礎と、実際の応用について、例題を中心として紹介し、訓練する。	EC12062又はEC12262を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC12163	化学実験	3	1.0	1	秋AB	金4-6	第二エリア	山田 小須弥, 繁森 英幸, 小川 和義, 中川 明子, 野村 名可男, 楊 英男, 南雲 陽子, 梶尾 俊介, 宮前 友策, 浦山 俊一	無機化学、物理化学及び有機合成化学実験を通じて、平衡・速度の概念を理解する。同時に、反応生成物の分離・精製・確認を行い基本操作を習熟する。	EC12113修得済みの者は履修できない。初回ガイダンスについては、シラバスを参照のこと。EGS0163と同一。10/3-10/31, 10/3-10/31, 10/3-10/31, 11/14-12/5, 11/14-12/5, 11/14-12/5 対面 使用する実験室についてはmanabaを確認すること。	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC12171	物理学	1	3.0	1	春ABC 秋ABC	金4 水4	第二エリア	奈佐原 顕郎, 粉川 美踏, 杉本 卓也	生物資源学類全般の学習・研究の基礎として必要となる物理学を学ぶ。EC12331「基礎数学」で扱う数学を前提知識とする。	EC12081、EC12181、EC12191を修得した者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC12173	生物学実験	3	1.0	1	秋BC	金4-6	第二エリア	野中 聡子, 木下 奈都子, 阿部 淳一, ビーター, 八幡 輝, 大徳 浩照, 平川 彦彦, 竹下 典男, 松山 茂	生物学の各分野から、生物資源学類に必要な観察・実験の項目を選んで実施し、生命現象の基本について理解させる。	定員100名。生物資源学類生優先。EC12623, EE11643, FB00143, FCA1923, FE00143, FFO0653, EB00003を修得済みの者は履修できない。EGS0193と同一。12/12-12/26, 12/12-12/26, 12/12-12/26, 1/9-2/6, 1/9-2/6, 1/9-2/6 対面 使用する実験室についてはmanabaを確認すること。	△	設備・教育機器等に余裕がある場合に限る	生物資源学類	
EC12331	基礎数学	1	3.0	1	春ABC 秋ABC	金3 月3	第二エリア	奈佐原 顕郎	生物資源学類全般の学習・研究の基礎として必要となる数学を学ぶ。特に、物理学、化学、経済学、統計学入門、物理実験、化学実験、数理学演習、実用解析1、11などで必要となる数学を学ぶ。グループワークに参加すること。	EC12051、EC12311、EC12321を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	

専門科目I(農林生物学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC21011	植物生理学	1	2.0	2	春AB	水1,2	第二エリア	菅谷 純子, 松倉千昭, 草野 都	資源植物を学ぶ上で必要な、植物の生活環境における重要な生理現象について、形態変化や細胞機能分裂も含めて概説する。また、植物の生長・分化や生殖における植物ホルモンの作用や作用機構、および植物と環境要因との関わりについて基礎知識を解説する。具体的には、植物の形態、光合成、物質循環、植物ホルモン、環境応答などである。	基幹科目 実務経験教員 対面			生物資源学類	
EC21031	植物遺伝学	1	2.0	2	秋AB	水1,2	第二エリア	柴 博史, 野中 聡子, 王 寧	資源植物を中心に、生物資源の遺伝特性を活用するために必要な遺伝と変異に関する基礎的理論について概説する。	基幹科目 対面			生物資源学類	
EC21051	作物生産利用学	1	2.0	2	秋AB	火1,2	第二エリア	加藤 盛夫, 松倉千昭, 王 寧	食用作物や工業作物などの土地利用型作物を対象とし、その生産・利用に当たって基本となる生物学的特性、自然環境条件に対する反応、収量と品質の成立条件、作付体系、持続的生産システムなどについて講義する。	横断領域科目「食料」 対面			生物資源学類	
EC21061	園芸学	1	2.0	2	秋AB	金5,6	第二エリア	菅谷 純子, 福田直也	果樹、蔬菜、観賞用植物などの園芸作物の生産を学ぶ基礎として、栽培、育種、生殖生理、収穫後生産物の生理などについて講義する。	横断領域科目「食料」 対面			生物資源学類	
EC21071	資源植物保護学	1	2.0	2	秋C	月・金1,2	第二エリア	古川 誠一, 阿部淳一, ビーター	農作物としての植物資源を加害する病害虫と診断、およびその被害に対する予防、防除について概説し、農作物の生産、運搬、貯蔵のなかで保護のもつ重要性を認識させる。	横断領域科目「食料」 対面			生物資源学類	
EC21091	資源動物学	1	1.0	2	秋AB	火4	第二エリア	浅野 敦之	家畜を中心とする資源動物は、人類に有益な機能や形態を特化させることで、人々の生活に貢献してきた。家畜の生体機構を支える生命現象は畜産のみならず、食品、医薬品開発に応用されている。本講義は主要な資源動物の種特性を歴史および生物学的側面から概説し、さらに生存維持に欠かせない繁殖、成長、エネルギー獲得などの基本的仕組みとその応用がもたらす意思など講義する。	EC21081を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC25011	生態学	1	2.0	2	春AB	月3,4	第二エリア	上條 隆志, 清野達之, 川田 清和, 津田 吉晃	生態系や個体群など生物のマクロな世界を対象とする生態学の基礎と、それを元とした環境保全、生物多様性保全、生物資源の持続的利用についても講義する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 環境工学コース 横断領域科目「環境」 対面			生物資源学類	
EC25051	分子生物学	1	2.0	2	秋AB	木1,2	第二エリア	中村 顕	生命現象はその全てが遺伝子に予めプログラムされている。本講義では、遺伝子の複製、転写、翻訳というセントラルドグマの各段階や遺伝子発現調節について、そのメカニズムを含めて講義する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC25061	生物資源経済学	1	2.0	2	春AB	金3.4	第二エリア	首藤 久人	経済発展と農業、食料の需要と供給、資源・環境と農業、農産物貿易、フードシステムといった食料・農業を取り巻く諸問題について、経済学的な視点から講述する。	基幹科目 横断領域科目「食料」「環境」（コース共通）農林生物学コース 社会経済学コース 対面			生物資源学類	
EC25081	森林管理学	1	2.0	2	秋AB	月1.2	第二エリア	興梠 克久	森林資源の管理と利用、保全に関する理論的枠組み（森林科学、特に林政学、森林計画学、森林利用学）と歴史および現状を紹介し、持続的森林管理の構築に向けた課題を検討する。	基幹科目（2025年度以降入学者対象）（コース共通）農林生物学コース 社会経済学コース 横断領域科目「環境」 対面			生物資源学類	
EC25133	生物資源生産科学実習I	3	1.0	2	春AB	木4.5	T-PIRC農場	瀬古澤 由彦、加藤 盛夫、松倉 千昭、王 寧、福田 直也、康 承源、浅野 敦之、清野 達之、トファエル アハメド、安久 絵里子	本実習は、生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ、生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ、生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先（コース共通）農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	
EC25143	生物資源生産科学実習II	3	1.0	2	秋AB	木4.5	T-PIRC農場	瀬古澤 由彦、加藤 盛夫、松倉 千昭、王 寧、福田 直也、康 承源、浅野 敦之、津田 吉晃、トファエル アハメド、安久 絵里子	本実習は、生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ、生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ、生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	（コース共通）農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	

専門科目I(応用生命化学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC22051	環境化学	1	2.0	2	春AB	木1.2	第二エリア	山路 恵子、浅野 真希	土壌・水・大気に関する基礎的な化学的諸現象を述べ、種々の原因によるそれらの汚染のプロセス、影響評価、さらに生物圏とのかわり及びその意味について講述する。	【受入上限数100名】 生物資源学類生を優先とする。横断領域科目「環境」 対面			生物資源学類	
EC22071	植物機能化学	1	2.0	2	秋AB	金3.4	第二エリア	繁森 英幸、古川 純、宮前 友策、山田 小須弥、春原 由香里	植物は動物と異なり、自らの意志でその生活の場を変えることができないために、無機物（光、重力、水など）および有機物（他の生物など）環境変化に敏感に反応し、生命の維持や種の繁栄を図っていると考えられている。本講義では、植物の成長や分化に関わる植物ホルモンの作用や植物の生活環に関わる生理活性物質の役割について解説する。さらに、植物の栄養、食糧や機能性食品としての植物、特殊環境下における植物の応答、植物の示す不思議な生理現象の化学的な解明についてトピックスを交えながら概説する。	横断領域科目「食料」 実務経験教員、対面			生物資源学類	
EC22081	細胞生物学	1	2.0	2	秋AB	水5.6	第二エリア	木村 圭志、柏原 真一、兼森 芳紀	さまざまな生命現象を細胞レベルで概説し、細胞質と各種細胞小器官の機能とシグナル認識・応答ネットワーク機構などを習得する。	対面			生物資源学類	
EC22091	生命科学のための物理化学	1	1.0	2	春AB	木3	第二エリア	市川 創作、小川 和義	自然界におけるいろいろな現象は、体系化された熱力学を学習することによって論理的に理解することができる。生化学、生物学及びこれらの応用分野における物理化学的諸現象についても同様である。そのため、まず熱力学について説明し、エンタルピーやエントロピーの概念を理解する。そのうえで、化学ポテンシャル、平衡常、気体、溶液、化学平衡などについての基本的事項を解説する。	EC22061を修得済みの者は履修できない。 対面			生物資源学類	
EC22101	微生物学	1	2.0	2	秋AB	火1.2	第二エリア	中島(神戸) 敏明	微生物は生物界の3つのドメイン(細菌、古細菌、真核生物)のすべてにわたって分布し、高等動物が存在できない極限環境にも幅広く生息している。微生物は多様な物質を栄養源・エネルギー源として生育し、地球上の物質循環を担っている生物群である。本講義では、微生物の特徴、分離・培養、代謝、遺伝から応用まで、微生物学のエッセンスをわかりやすく解説する。	対面			生物資源学類	
EC22111	基礎生物化学工学	1	2.0	2	秋AB	月1.2	第二エリア	青柳 秀紀、市川 創作、野村 名可男、平川 秀彦、小川 和義、高橋 将人	生物化学工学は、生物または生物が関与する有用物質を定量的・経済的に取り扱うために生まれた学問であり、その対象は発酵、食品製造・加工、環境浄化、ワクチン等医薬品製造、有用天然物の分離精製、人工臓器等の再生医療、バイオ燃料生産など、極めて広範囲に及ぶ。このため、現在の私たちの社会・産業は生物化学工学なしに成立しない。しかし、その対象が広がったために、「生物化学工学とは何か」がわかりにくくなっているのも事実である。そこで、この授業では具体的な例を示しながら生物化学工学を概観し、生物化学工学を学ぶことの重要性を理解すると共に、生物化学工学を理解するために必要な事項等を含めた生物化学工学の基礎を講義する。	対面			生物資源学類	
EC22113	バイオテクノロジー基礎実験	3	2.0	2	夏季休業中 秋AB	集中月4-6	第二エリア	青柳 秀紀、繁森 英幸、高谷 直樹、野村 暢彦、柏原 真一、兼森 芳紀、野村 名可男、宮前 友策	本実験では、バイオテクノロジー(環境、生化学、微生物、動植物、生物化学工学)に関する研究を行う上でその基礎となる実験手法や幅広い考え方を総合的に学ぶ。	70名を限度とする。 対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	
EC22131	食品バイオテクノロジー	1	1.0	2	春AB	木6	第二エリア	吉田 滋樹、中島(神戸) 敏明	食品分野ではバイオテクノロジーを用いた種々の商品が開発されている。本授業では、動物、植物、微生物が持つ様々な機能や内在する成分を利用した食品開発や食品加工について、具体例を交えて解説する。	横断領域科目「食料」 対面			生物資源学類	
EC22141	酵素化学	1	1.0	2	秋C	水5.6	第二エリア	橋本 義輝	生命現象の多くは酵素と呼ばれる触媒分子によりコントロールされている。酵素の理解は、生命科学の基礎研究にとどまらず、医薬品や食品開発等の産業面においても不可欠である。本講義では、酵素の役割、種類、性質等の基礎知識だけでなく、その応用についても学ぶ。	対面			生物資源学類	
EC25021	生化学	1	2.0	2	春AB	水5.6	第二エリア	加香 孝一郎、橋本 義輝、木村 圭志	生体の主要な構成成分であるタンパク質、脂質、糖質、核酸の構造と機能。さらには代謝反応について、実際の生命現象との関わり合いを例にとり解説する。	基幹科目 （コース共通） 応用生命化学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC25031	分析化学	1	2.0	2	秋AB	水3,4	第二エリア	古川 純, 宮前 友策	さまざまな生命現象に關する物質の抽出・分離・精製方法及び物質の構造・機能解析法やその応用について概説する。	(コース共通) 応用生命科学コース 環境工学コース 実務経験教員 対面			生物資源学類	
EC25041	有機化学	1	2.0	2	春AB	火1,2	第二エリア	柏原 真一, 繁森 英幸	低分子だけでなく高分子を含めた有機化合物の基本的構造と反応について概説し, 生命現象をつかさどる物質の化学的基礎を習得する。	基幹科目 (コース共通) 応用生命科学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	
EC25051	分子生物学	1	2.0	2	秋AB	木1,2	第二エリア	中村 顕	生命現象はその全てが遺伝子に予めプログラムされている。本講義では, 遺伝子の複製, 転写, 翻訳というセントラルドグマの各段階や遺伝子発現調節について, そのメカニズムをきめて講義する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	
EC25133	生物資源生産科学実習I	3	1.0	2	春AB	木4,5	T-PIRC 農場	瀬古澤 由彦, 加藤 盛夫, 松倉 千昭, 王 寧, 福田 直也, 康 承源, 浅野 敦之, 清野 達之, トファエル アハメド, 安久 絵里子	本実習は, 生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ, 生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ, 生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先 (コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	
EC25143	生物資源生産科学実習II	3	1.0	2	秋AB	木4,5	T-PIRC 農場	瀬古澤 由彦, 加藤 盛夫, 松倉 千昭, 王 寧, 福田 直也, 康 承源, 浅野 敦之, 清野 達之, 津田 吉晃, トファエル アハメド, 安久 絵里子	本実習は, 生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ, 生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ, 生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	

専門科目I(環境工学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC23011	実用解析I	1	1.0	2	春AB	月2	第二エリア	山下 祐司, 杉本 卓也, 小林 幹佳	物質輸送や熱移動などの移動現象をモデル化するための基礎となる移流拡散方程式の導出と解法を通じて, 偏微分方程式の実用的な理解を深める。特に, 変数分離法, 直交関数, フーリエ級数, デイラックのデルタ関数とその応用やラプラス変換を扱う。	基幹科目 対面			生物資源学類	
EC23021	実用解析II	1	1.0	2	秋AB	金5	第二エリア	杉本 卓也, 小林 幹佳, 山下 祐司	実用解析Iの理解に基づいて, 偏微分方程式への応用を志向したテンソル解析を扱う。テンソル解析についてはアインシュタインの総和規約, 行列式, 余因子展開に付随するテンソルの基礎を扱い, 流れ方程式への応用については応力テンソルの対称性, フーリエ変換を使った流れ方程式の解法およびその発展を扱う。	対面			生物資源学類	
EC23041	材料力学	1	2.0	2	秋AB	月3,4	第二エリア	小幡谷 英一	機械や構造物に外力が作用したときの各部に生じる応力や変形, 材料の強度に関する基礎的な知識を習得する。	EC23041を修得したものは履修できない。対面			生物資源学類	
EC23081	高分子科学	1	2.0	2	秋C	月・火・水・木2	第二エリア	梶山 幹夫	高分子化学, 高分子物性の基礎や複合材料を設計する基礎を学習すると同時に, 天然高分子の構造と性質を学習する。	対面			生物資源学類	
EC23133	環境工学基礎実験	3	1.0	2	春AB	金5,6	第二エリア	中川 明子, 内海 真生, 小林 幹佳, ネヴェス マルコス アントニオ, 雷 中方, 梶山 幹夫, 杉本 卓也, 原田, 粉川 美踏, 小幡谷 英一, 山下 祐司	水, 土, 圃場, 森林, 大気などの生産環境やバイオマス, 食品などの生物資源を対象として, これらの特性を明らかにする諸理論, 試験, 計測, 解析のための基礎的手法を理解・習得する。また実験を通じて, 環境工学的なアプローチや科学技術研究における問題の発見とその解決のための実践的能力を養成する。	生物資源学類生に限る(受入上限数30名)。EC23113, EC23119, EC23123を修得済みの者は履修できない。EG60663と同一。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC23203	生物資源科学情報処理実習	3	1.0	2	秋AB	火5,6	第二エリア	水野谷 剛, ヤーパール ヘルムート	実験や実習で収集したデータの処理技法について生物資源学類の授業に関連した題材を取り上げる。	EC23103を修得済みの者は履修できない。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC23211	熱・物質移動の科学I	1	1.0	2	春AB	金1	第二エリア	粉川 美踏	熱および物質移動に関する基礎理論を平易に解説する。熱や物質移動理論の生体や自然界への適用及び応用例を講述する。	基幹科目 EC23051を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC23221	熱・物質移動の科学II	1	1.0	2	秋AB	水1	第二エリア	北村 豊, ネヴェス マルコス アントニオ, 中嶋 光敏	熱力学, 熱および物質移動に関する基礎理論を平易に解説する。熱や物質移動理論の生体や自然界への適用及び熱機関, 熱交換などへの応用例を講述する。	EC23051を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC23231	土の物理学I	1	1.0	2	春AB	水3	第二エリア	杉本 卓也, 山下 祐司	不均一な場である土壌, 水環境を解析するための物理学および移動現象論的方法論の基礎を学ぶ。特に生物生産, 環境保全, 食品, 生物材料の基礎を学ぶ立場から必要となる土壌物理学の基礎と関連する基礎的なコロイド界面科学について取り扱う。	基幹科目 「土の物理学」(EC23061)を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC23241	土の物理学II	1	1.0	2	秋AB	火4	第二エリア	杉本 卓也, 山下 祐司	環境汚染問題に関する歴史的経緯を振り返った上で, 土壌・水環境の汚染問題に対処するための理工学的基礎を学ぶ。特に, 土壌圏を媒体とした物質の移動現象や化学反応の基礎について考究する。授業後半の地球化学コードPhreeqcを用いた演習では, 学習した物理モデルや化学反応式を実際にシミュレーションすることで, その適用手法を身につける。	EC23061を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC23251	流れの科学I	1	1.0	2	春AB	月1	第二エリア	小林 幹佳	水を中心に流れに関する現象とそこで成立する基本的な力学的法則について講述し, 現象の理解と工学的応用を考える。静水力学, ベルヌイの定理, エネルギーの損失, 運動量の法則などを内容とする。	基幹科目 EC23071を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC23261	流れの科学II	1	1.0	2	秋AB	木3	第二エリア	小林 幹佳	流れの科学I, 実用解析Iの理解をもとに, 流れ場を記述する方法について学ぶ。オイラーの運動方程式, オドエー, ストークス方程式やそれらの応用などを内容とする。	EC23071を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC25011	生態学	1	2.0	2	春AB	月3,4	第二エリア	上條 隆志, 清野 達之, 川田 清和, 津田 吉晃	生態系や個体群など生物のマクロな世界を対象とする生態学の基礎と, それを元とした環境保全, 生物多様性保全, 生物資源の持続的利用についても講述する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 環境工学コース 横断領域科目「環境」対面			生物資源学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC25021	生化学	1	2.0	2	春AB	水5,6	第二エリア	加香 孝一郎, 橋本 義輝, 木村 圭志	生体の主要な構成成分であるタンパク質・脂質・糖質・核酸の構造と機能。さらには代謝反応について、実際の生命現象との関わり合いを例にとり解説する。	基幹科目 (コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	
EC25031	分析化学	1	2.0	2	秋AB	水3,4	第二エリア	古川 純, 宮前 友策	さまざまな生命現象に関連する物質の抽出・分離・精製方法と物質の構造・機能解析法やその応用について概説する。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 実務経験教員 対面			生物資源学類	
EC25041	有機化学	1	2.0	2	春AB	火1,2	第二エリア	柏原 真一, 繁森 英幸	低分子だけでなく高分子を含めた有機化合物の基本的構造と反応について概説し、生命現象をつかさどる物質の化学的基礎を習得する。	基幹科目 (コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	
EC25051	分子生物学	1	2.0	2	秋AB	木1,2	第二エリア	中村 顕	生命現象はその全てが遺伝子に予めプログラムされている。本講義では、遺伝子の複製・転写・翻訳というセントラルドグマの各段階や遺伝子発現調節について、そのメカニズムを含めて講義する。	基幹科目 (コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	
EC25071	森林資源経済学	1	2.0	2・3	秋AB	集中		興梠 克久, 立花 敏	森林の持続可能な管理・利用に向けた方策を検討すべく、森林資源の態様や変化、林産物の生産・消費と流通・貿易、市場の失敗や経済評価、木材産業等に関して理論的実証的に講義する。	基幹科目 (2024年度以前入学者対象) (コース共通) 環境工学コース 社会経済学コース 横断領域科目「環境」「国際」 西暦奇数年開講。 対面			生物資源学類	
EC25133	生物資源生産科学実習 I	3	1.0	2	春AB	木4,5	T-PIRC 農場	瀬古澤 由彦, 加藤 盛夫, 松倉 千昭, 王 寧, 福田 直也, 康 承源, 浅野 敦之, 清野 達之, トファエル アハメド, 安久 絵里子	本実習は、生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ、生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ、生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。(コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	
EC25143	生物資源生産科学実習 II	3	1.0	2	秋AB	木4,5	T-PIRC 農場	瀬古澤 由彦, 加藤 盛夫, 松倉 千昭, 王 寧, 福田 直也, 康 承源, 浅野 敦之, 清野 達之, 津田 吉晃, トファエル アハメド, 安久 絵里子	本実習は、生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ、生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ、生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	

専門科目I(社会経済学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC24051	農村社会学	1	2.0	2	秋AB	水5,6	第二エリア	氏家 清和, 芳賀 和樹	土地資源を主な生産・生活手段としてきた農村社会は、戦後の経済成長にももたらした大きな変動を undergone している。この講義では、農村社会の構造的な特徴と変動過程について理論的・実証的に考察し、現代日本社会および地域社会に内在する農村社会の特質と、農村社会の再構築について論じる。	基幹科目 (2024年度以前入学者対象) 横断領域科目「食料」「環境」「国際」 履修生の上限を100名とし、上限を超えた場合には、生物資源学類生/社会学類生/他学類生に順に抽選。 西暦奇数年開講。 BB11531と同一。 対面	△	受講者数又は教室等に余裕がある場合に限る	生物資源学類	
EC24141	国際資源開発経済学	1	2.0	2	秋AB	月5,6	第二エリア	首藤 久人	各国の農業発展経路の類似性や差異、農業における生産活動と資源・環境保全との関係についての経済学的アプローチ。多国籍的食料・農産物貿易といった資源と経済発展をとりまく国際的な諸問題について講義する。	横断領域科目「食料」「国際」 EC24021を修得済みの者は履修できない。 対面			生物資源学類	
EC25061	生物資源経済学	1	2.0	2	春AB	金3,4	第二エリア	首藤 久人	経済発展と農業、食料の需要と供給、資源・環境と農業、農産物貿易、フードシステムといった食料・農業を取り巻く諸問題について、経済学的な視点から講義する。	基幹科目 横断領域科目「食料」「環境」 (コース共通) 農林生物学コース 社会経済学コース 対面			生物資源学類	
EC25071	森林資源経済学	1	2.0	2・3	秋AB	集中		興梠 克久, 立花 敏	森林の持続可能な管理・利用に向けた方策を検討すべく、森林資源の態様や変化、林産物の生産・消費と流通・貿易、市場の失敗や経済評価、木材産業等に関して理論的実証的に講義する。	基幹科目 (2024年度以前入学者対象) (コース共通) 環境工学コース 社会経済学コース 横断領域科目「環境」「国際」 西暦奇数年開講。 対面			生物資源学類	
EC25081	森林管理学	1	2.0	2	秋AB	月1,2	第二エリア	興梠 克久	森林資源の管理と利用、保全に関する理論的枠組み(森林科学、特に林政学、森林計画学、森林利用学)と歴史および現状を紹介し、持続的森林管理の構築に向けた課題を検討する。	基幹科目 (2025年度以降入学者対象) (コース共通) 農林生物学コース 社会経済学コース 横断領域科目「環境」 対面			生物資源学類	
EC25133	生物資源生産科学実習 I	3	1.0	2	春AB	木4,5	T-PIRC 農場	瀬古澤 由彦, 加藤 盛夫, 松倉 千昭, 王 寧, 福田 直也, 康 承源, 浅野 敦之, 清野 達之, トファエル アハメド, 安久 絵里子	本実習は、生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ、生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ、生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	生物資源学類生優先。(コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。 対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC25143	生物資源生産科学実習II	3	1.0	2	秋AB	木4,5	T-PIRC農場	瀬古澤 由彦, 加藤 盛夫, 松倉 千昭, 王 寧, 福田 直也, 康 承源, 浅野 敦之, 清野 達之, 津田 吉晃, トファエル アハメド, 安久 絵里子	本実習は、生物資源生産科学入門のための基礎的実習科目である。実習はT-PIRC農場と山岳科学センター筑波実験林で行われ、生物資源生産学の理論と技術を体験的に理解・習得することを通じ、生物資源生産科学への認識を深めることを目的とする。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース EC25123を修得済みの者は履修できない。	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	

専門科目II(農林生物学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC31011	作物学	1	2.0	3	春AB秋AB	月2	第二エリア	加藤 盛夫, 松倉 千昭	普通作物のうち世界で栽培されているイネ科作物、マメ類、イモ類、雑穀などの食用作物を対象に、その産地、品種、生理生態的特性、栽培管理技術、品質など、生産・利用のうえで知っておくべき要点を講述する。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC31012	植物科学の動向	2	1.0	2・3	秋C	月3,4	第二エリア	木下 奈都子	本授業では植物科学における最新の研究動向に着目する。害虫ストレス、環境ストレス、化学生態学、植物間コミュニケーション、バイオイメージング、合成生物学、精密農業などから、毎年異なる分野を設定する。近年報告された論文を読み、授業でディスカッションを行う。特に、最新の重要な技術に注目する。	EG60012と同一。隔年で日本語と英語で開講。定員18名 EC21011(植物生理学)、EC25051(分子生物学)履修済みの者に限る。それ以外は直接教員へ連絡すること。西暦奇数年度開講。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC31031	作物生産システム学	1	1.0	3	春AB	水4	第二エリア	加藤 盛夫, 林 久喜	農業の近代化によって発展した生産技術を体系的に理解すると共に作付体系の概念や長期作付試験などから作物生産の持続性や作物生産システムの将来のあるべき姿について考える。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC31041	蔬菜生産学	1	2.0	3	春AB秋AB	火3火2	第二エリア	福田 直也, 康 承源, 野中 聡子	わが国における蔬菜栽培の現状を概観し、蔬菜の種類・品種の特徴を述べ、育種・栽培技術、施設利用、作型などの現状について解説する。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC31051	果樹生産利用学	1	2.0	3	春AB秋AB	金2	第二エリア	菅谷 純子, 瀬古澤 由彦	果樹産葉、果樹の種類と繁殖、栽培環境、果実発育と栄養生理、栽培技術、収穫後果実の生理と取り扱い等について総論的に解説し、さらに代表的な常緑果樹、落葉果樹、熱帯果樹についての各論を講述する。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC31061	植物病理学	1	2.0	3	春AB秋AB	金3	第二エリア	岡根 泉, 阿部 淳一, ビーター	植物病理学の内容を概説し、特に病原体の分類、生理、生態等の生物学的諸性質、宿主植物と病原体との相互作用、様々な病害防除法の利点と問題点について解説する。さらに、主要農作物、森林樹木の重要な病気に、診断に必要な病徴、病原体の形態、防除に必要な植物への感染・伝染経路、ならびに防除法について具体的に紹介する。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC31071	応用動物昆虫学	1	2.0	3	春AB秋AB	木3	第二エリア	古川 誠一	昆虫を含めた様々な動物が生物資源生産において影響を及ぼしている。これらの生物の特性や機能を理解することで、より適切な総合的有害生物管理(IPM)を行うことができる。この講義では、農業上重要な昆虫を取り上げ、その形態、生理、行動、生態、適応性、機能利用などについて詳説し、様々な管理手段をいかに組み合わせるかを解説する。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC31171	植物寄生菌学	1	2.0	3	春AB秋AB	木1	第二エリア	阿部 淳一, ビーター, 岡根 泉	植物には、病害を引き起こす植物病原菌、植物と共生している菌根菌や内生菌など、様々な菌類が寄生している。これら広義の植物寄生菌類の形態的、生態的、生理的特徴と菌類の分類体系について解説するとともに、主要な植物寄生菌類の分類、形態、寄生様式、生活環などを詳説する。	横断領域科目「環境」対面			生物資源学類	
EC31211	森林植物学	1	2.0	3	春AB	水1,2	第二エリア	上條 隆志	わが国の森林に自生する樹木を中心に、世界の森林植物の分類、見分け方、分布、名称、利用などについて具体的に解説する。	横断領域科目「環境」対面			生物資源学類	
EC31213	森林育成学実験	3	1.0	3	秋AB	木4-6	川田 清和, 上條 隆志, 清野 達之, 津田 吉晃	森林を含む生態系の調査・実験・解析方法を学ぶ。農林生物学実験の森林コースと同一内容で行う。なお、農林生物学実験を履修するものは、本実験を履修することはできない。	「農林生物学実験」(EC31413)を履修するものは、本実験を履修することはできない。EC31293を修得済みの者は履修できない。対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類		
EC31253	植物寄生菌学実験	3	1.0	3・4	夏季休業中 秋A	集中 水2,3	岡根 泉, 阿部 淳一, ビーター	自然界において重要な役割を演じている菌類のうち、植物に寄生あるいは共生している菌類の採集法、観察法および同定法を修得させる。さらに、野外実習を通してこれら菌類の生態ならびに生態系における機能を学習させる。	夏期休業中に野外実習を実施する。15名を上限とする。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類		
EC31271	動物生産学	1	1.0	3	秋C	集中	第二エリア	浅野 敦之	食料が主目的だった動物生産は、発生工学技術の着しい進歩により、医薬品生産、病理疾患モデルの作製、絶滅危惧動物の保護の技術基盤になっている。本講義においては、動物生産の背景や技術理論を、生物学的・倫理的側面から解説する。さらに動物生産が利用する中核的生命科学現象を分かりやすく説明し、新たな動物作成や遺伝子操作技術の理論と実際、ならびにそのリスクについても言及する。	横断領域科目「食料」 EC31081を修得済みの者は履修できない。西暦奇数年度開講。1/27-1/30 対面			生物資源学類	
EC31301	動物機能生理学	1	1.0	3	春AB	水3	第二エリア	浅野 敦之	遺伝的に特殊化された資源動物の成り立ちを理解するには、各動物が身につけた機能と形態を繋ぐ生理機構を理解する必要がある。また生体における生理機構の種特異性は、生命科学の進歩を介して、医療、福祉、農業、食品分野など広く貢献している。本講義では、様々な資源動物において有用機能と制御に関わる生体機構を生理学的側面から解説する。また動物における生殖、発生分化、成長の類似と特異性を説明し、最新知見を合わせて食料生産、生命工学、病気治療技術への応用と展望を紹介する。	EC31201を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC31331	昆虫分子生物学	1	1.0	3・4	秋C	木3,4	第二エリア	古川 誠一	地球上の動物の中で最も種類が多く、多様な機能を示す昆虫類を対象に、分子レベルでその特徴を探っていく。ゲノム研究なども参考に、普遍的な生命現象だけでなく、昆虫類に特有な機能・生物間相互作用等も学ぶ。	対面			生物資源学類	
EC31381	植物ウイルス学	1	1.0	2・3	秋B	集中	浦山 俊一, 富高 保弘	ウイルスの分類体系を紹介するとともに、植物に感染するウイルスの形態、複製、変異、伝染様式、媒介虫との関係、並びに、これらによって起こる植物の病徴発現、抵抗性、予防や治療法などに関する知見を体系的に概説し、あわせて今後の課題点を指摘する。	西暦奇数年度開講。対面			生物資源学類		

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン	
EC31391	食品機能学		1	1.0	3	秋AB	水4	第二エリア	磯田 博子, 高橋 真哉, Ferdousi Farhana	本講義では、伝統的な食と薬の文化を持つ世界の様々な食資源の機能性に着目した研究事例を紹介する。生活習慣病をはじめとする種々の疾病の予防につながる機能性食品や化粧品素材として利用される食資源由来機能性成分の実例を挙げ、その作用機序等について解説する。	横断領域科目「食料」「国際」実務経験教員、対面			生物資源学類	
EC31421	生物統計学		1	2.0	3	春C	月・火 3,4	第二エリア	吉岡 洋輔	農林生物学分野の研究で広く用いられている生物統計学の基礎的な解析法を学ぶ。また、統計解析ソフトを用いた演習を通して、生物統計学の各種解析法の理解を深める。	定員50名。農林生物学コース学生優先。2026年度以降開講なし。対面	△	受講者数又は教室等に余裕がある場合に限る	生物資源学類	
EC31431	園芸生産技術論		1	1.0	3・4	秋C	金1,2	第二エリア	菅谷 純子, 瀬古 澤 由彦, 福田 直也	野菜・花き・果樹を対象とした園芸生産における栽培技術は植え付けから収穫まで多様である。わけてもセル形成苗生産・施設栽培・育苗モデル(休眠芽発芽予測)などは、園芸作物に特化した繁殖・育苗・環境制御に関する生産技術である。これらについて概説するとともに、技術の背景にある植物の生理生態学的特性や、技術開発の基礎となる原理などについて説明する。	対面			生物資源学類	
EC31443	森林生物学実習		3	1.0	3	夏季休業中	集中	八ヶ岳演習林	上條 隆志, 清野 達之, 山川 陽祐	山岳科学センター八ヶ岳演習林及びその周辺の森林において、森林植物の観察、採集を行う。植物標本を作製するとともに、森林植物の分類学的、生態学的な知識を習得する。暖温帯、冷温帯、亜高山帯における80種から100種の樹木を観察・採集する。	宿泊の関係上、人数制限を行う場合がある。「森林植物学」(EC31211)を履修していることが望ましい。本実習履修希望者は必ずガイダンスに出席のこと。参加する場所についてはTWINS掲示板で確認すること。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC31461	森林遺伝学		1	1.0	3・4	春C	集中	津田 吉晃	森林生物の遺伝的な基礎知識を習得し、進化生物学・集団遺伝学的な知見から考えられる生態系から種、種内集団レベルの歴史の変遷や遺伝的多様性の知見を加味した保全方法や持続的な森林管理について学ぶ	EC31351を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類		
EC31513	生物生産システム学実習		3	2.0	3	春AB 秋AB	金4,5 月4,5	T-PIRC農場	瀬古澤 由彦, 福田 直也, 加藤 盛夫, 康 承源, 松倉 千昭, 王 寧	T-PIRC農場で実施する。本実習は、植物資源を生産するための基本である栽培に関する基礎知識・技術の習得を目的とする。受講生は、作物学コース、園芸学コースのいずれかを選択する。	生物資源生産科学実習Ⅰ・Ⅱを受講していることが望ましい。対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	
EC31533	アニマルサイエンス実験実習		3	1.0	2・3	春A 春B 春C	金4,5 集中 集中	T-PIRC農場	浅野 敦之	家畜、畜産生産物、動物細胞の機能に関する基礎知識を学ぶと共に、それらの評価・分析方法を習得する。本科目は実験と実習をハイブリットで実施する。また実習の一部を宇都宮大学附属農場で実施する。	定員40名 農林生物学コース生優先 5/23,7/18,7/19 対面 春C集中は宇都宮大学附属農場にて実施	△	設備・教育機器等に余裕がある場合に限る	生物資源学類	
EC31551	花卉学		1	2.0	3	春AB	月5,6	第二エリア	康 承源	花卉(觀賞植物)の対象となる植物遺伝資源について、それぞれの育種・生産・流通体系を解説し、切花・鉢物・種苗生産ならびに社会園芸での利用面についても講述する。	EC31141及びEC31531を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC31561	発現・代謝ネットワーク制御学		1	1.0	3	春AB	火4	第二エリア	柴 博史, 草野 都	本科目では、植物を対象としてセントラルドグマを拡張した新たな概念について学習する。特にオミックスの観点から遺伝情報、エピジェネティックな遺伝子発現制御およびこれらの最終産物として位置付けられる代謝物レベルでの制御機構の解明に必要な知識や測定技術を紹介する。本科目を通して植物が過酷な環境で生き抜く生命活動を包括的に捉えることの重要性について概説する。	対面			生物資源学類	
EC35013	森林総合実習		3	1.0	3	夏季休業中	集中	八ヶ岳演習林	清野 達之, 小幡 谷 英一, 中川 明子, 津田 吉晃	山岳科学センター八ヶ岳・川上演習林において、森林動物の観察、樹木調査、森林管理の体験をするとともに、樹木の生態・生理に関する知識、動物と森林の関わりや森林の利用を習得して樹木と森林の役割を総合的に理解する。	(コース共通) 農林生物学コース 環境工学コース EC31323を修得済みの者は履修できない。履修人数の制限を行う場合がある。実習のガイダンスと人数調整を行うので本実習履修希望者は必ず出席すること。参加する場所についてはTWINS掲示板で確認すること。開催場所を筑波地区等に変更する場合がある。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC35021	植物育種学		1	2.0	3	春AB 秋AB	月4 金4	第二エリア	吉岡 洋輔, 野中 聡子	作物の品種改良には、対象作物における遺伝的変異の創出・拡大、希望型の選抜・固定化および品種・系統の維持・増殖等に関する知識と技術が必要とされる。本講義では、(1)育種学の基礎、(2)植物遺伝資源の収集と保存、(3)遺伝的変異の創出・拡大技術と育種法、および(4)主要作物における育種目標について概説する。	(コース共通) 農林生物学コース 環境工学コース 横断領域科目「食料」「国際」対面			生物資源学類	
EC35051	サプライチェーン概論		1	1.0	3・4	春C	集中	北村 豊, 市川 創作	高品質かつ安全安心なサプライチェーンを支えるフードビジネスの役割や使命を解説する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 社会経済学コース 7/24, 7/25 オンライン(オンデマンド型)				○	
EC35061	サステナビリティマネジメント論		1	1.0	2・3	春C	集中	北村 豊, 市川 創作	サプライチェーン全体と、それぞれの段階における環境や労働安全も含めたサステナビリティ管理手法とこれを確認する監査手法について解説する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 社会経済学コース 7/18, 7/19 オンライン(オンデマンド型)				○	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC35101	林業経営体論	1	2.0	3	春AB	月1.2	第二エリア	興梠 克久	森林環境と人間社会の諸々の相互関係を社会的科学的に追究する一環として、持続可能な地域森林管理(SFM)の主体形成の理論的枠組み(主として政治経済学・環境社会学および村落社会学等)・実証研究の紹介およびSFM構築に向けた課題を検討する。	「森林環境社会論」(EC34071)、「林業経営体論」(EC34071)を修得した者は履修できない。(コース共通) 農林生物学コース 横断領域科目「環境」「国際」対面			生物資源学類	

専門科目II(応用生命化学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC32011	分子情報制御学	1	2.0	3	春AB	火5.6	第二エリア	木村 志志	人間のからだはさまざまな分子のネットワークによって維持されている。本講義では、これらの分子機構に焦点をあて、細胞の増殖・分化・老化・がん化との関係についても解説する。	対面			生物資源学類	
EC32021	微生物オムニバス	1	1.0	3	春C	金1.2	第二エリア	竹下 典男, 應 蓓文, 浦山 俊一, 八幡 穰, 橋本 義輝	環境・医療・農学・発酵・バイオ工学など幅広い分野に関わる微生物(細菌・真菌・ウイルスなど)について、最新のテクノロジーとホットトピックなサイエンスをオムニバス形式で紹介する。	定員130名。生物資源学類生優先。対面	△	受講者数又は教室等に余裕がある場合に限る	生物資源学類	
EC32031	分子発生制御学	1	2.0	3	春AB	木1.2	第二エリア	柏原 真一, 兼森 芳紀	ひとつの受精卵から個体が発生していく現象の高次制御機構を分子(遺伝子)・細胞レベルで解説し、生命の連続性を理解させる。また、その発生制御機構が食料・医薬品生産や生殖・再生医療 および環境問題などへどのように応用できるかにしても解説する。	対面			生物資源学類	
EC32051	生物化学工学I	1	1.0	3	春AB	木3	第二エリア	青柳 秀紀, 高橋 将人	微生物細胞の培養に関連する生物化学工学の内容を概説する。主な内容は微生物細胞の増殖特性、微生物細胞の代謝と細胞増殖、微生物細胞の反応速度論、培地の殺菌、微生物細胞の培養操作。	対面			生物資源学類	
EC32061	生物化学工学II	1	1.0	3	春AB	火3	第二エリア	市川 創作, 平川 秀彦	バイオサイエンスの進歩は多くの産業の発展に貢献してきた。その発展を実現してきた生物化学工学の基礎を体系的に学ぶ一環として、本科目では、固定化酵素やバイオリアクターの基礎的理解、及び有用物質の生産技術などに焦点を当てる。	対面			生物資源学類	
EC32081	細胞培養工学	1	1.0	3	秋AB	火3	第二エリア	青柳 秀紀	植物バイオの基盤となる植物細胞、プロトプラスト、組織、器官の細胞培養工学に関する歴史と現状、植物バイオの可能性と社会的意義について概説する。主な内容は植物細胞の増殖特性、植物細胞培養の動力学、培養環境の定量的評価、代謝工学、有用物質生産や環境浄化を行う各種バイオリアクター。	対面			生物資源学類	
EC32121	応用微生物学	1	2.0	3	秋AB	月1.2	第二エリア	高谷 直樹	微生物は自然界の物質循環に不可欠な存在であるばかりでなく、古くから発酵食品等に利用されてきた。現在、応用微生物学の分野は、農学、工学、理学、医学、環境等の分野にまたがり重要な位置を占めている。微生物の持つ有用な機能を理解出来るように、微生物に関する基礎知識から応用面まで解説する。	対面			生物資源学類	
EC32131	微生物分子遺伝学	1	2.0	3	春AB	月1.2	第二エリア	野村 暢彦	微生物における分子生物学を中心に講義する。セントラルドグマは動物・植物・微生物全てにおいて共通であるが、微生物だからこそ有する遺伝子あるいは発現調節機構も多く存在する。それらについての基礎を解析手法もあわせて講義する。また、医療・食品・化学さらに環境などの分野に関する微生物の分子遺伝学についても講義を展開する。	対面			生物資源学類	
EC32161	土壌科学	1	2.0	3	秋AB	金3.4	第二エリア	浅野 真希	農耕地・森林生態系の基盤として極めて重要な土壌について、その基本的な諸側面(土壌の生成・構造・機能)を解説した後、土壌の管理・保全方法ならびに土壌の環境変化応答などの応用的な諸側面について解説する。講義を通して、土壌資源の現状と将来を考える。	横断領域科目「環境」対面			生物資源学類	
EC32171	植物栄養学	1	2.0	3	春AB	火1.2	第二エリア	古川 純	植物は自然界から効率的に栄養素を取り込み、これを利用して自身の成長や分化を担っている。植物における必要元素の機能と代謝および肥料、土壌および環境との関連について本科目で説明する。当該学術分野における最近の研究についても各時間で紹介する。	対面			生物資源学類	
EC32181	植物環境応答学	1	2.0	3	秋AB	金1.2	第二エリア	山田 小須弥, 山路 恵子	地球温暖化や化学物質による土壌汚染など、人間の活動に伴う環境変動に対する植物の感知・応答機能について概説し、こうした応答機能を利用した環境保全や修復、ならびに、環境変動に対する植物の適応性について考察する。さらに、無機あるいは有機的ストレスに対する植物の応答メカニズムについて、関連する植物ホルモンならびに生理活性物質の働きを中心に概説する。	横断領域科目「環境」対面			生物資源学類	
EC32191	生物資源天然物化学	1	2.0	3	春AB	金1.2	第二エリア	繁森 英幸, 宮前 友策	植物が具備する様々な環境応答機能に着目し、それぞれ機能発現に密接に関与する植物ホルモンを含む生理活性物質について、その発見の経緯、構造と機能及び最近の研究動向を解説する。また、植物の生理活性物質と生活、植物と動物や微生物との生物間コミュニケーションに関わる化学物質ならびに植物と環境間で働く物質について、天然物化学、生物有機化学の観点から解説するとともに、これらの物質が関与する医薬品や農業の開発に関しても最近のトピックスを交えながら紹介する。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC32201	システム生物工学	1	1.0	3	春C	火3.4	第二エリア	應 蓓文, Utada Andrew S, 竹下 典男	(物)生物の振る舞いを定量的に理解するための原理、技術と応用を学ぶ。生物学、工学、情報科学、数理統計学など分野横断型の知の融合を理解する。	日本語と英語、両方で講義する。EG60691と同一。対面			生物資源学類	
EC32221	生物プロセス工学	1	1.0	3	春AB	金3	第二エリア	野村 名可男	生物プロセス工学の視点から、動物細胞工学の基礎知識である、哺乳類動物細胞の培養の意義、細胞の増殖制御機構の特性、細胞周期、増殖促進因子の情報伝達、細胞外足場作用機構、細胞の死、癌化の発生機構、再生医療への応用について概説する。また、生物プロセス工学で扱う、環境生態工学の基礎知識についても概説する。これにより、汎用性の高い生物プロセス工学の基本的な学問手法や対象の多様性について修得する。	横断領域科目「環境」対面			生物資源学類	
EC32231	土壌微生物生態学	1	1.0	2・3	秋B	集中	浅野 真希	細菌・糸状菌・放線菌などの土壌微生物の分類と生態について解説する。特に、土壌生態系の物質循環において重要な役割を果たす各種微生物について、その生化学的反応や研究方法について概説する。	横断領域科目「環境」西暦者数年度開講。対面			生物資源学類		

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC32233	土壌調査法実習	3	1.0	3	春C	集中		浅野 真希	調査対象地域に分布する森林土壌の生成環境(土壌生成因子)についての理解を深め、土壌断面の観察とその記載に基づく土壌調査法を実習する。この実習を通して、森林生態系における土壌の役割について考える。	詳細はシラバス参照のこと。事前に実習ガイドンスを行うので受講希望者は必ず出席すること。EC32223を修得した者は履修できない。8/7-8/9開講予定(開講日が変更される場合がある。実習ガイドンスにて開講日を連絡する)。筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所にて開講。対面	△	教員免許状取得目的の者に限る	生物資源学類	
EC32241	食品栄養化学	1	1.0	3	春AB	月6	第二エリア	吉田 滋樹	糖、脂質、タンパク質、ビタミンなどの食品の主要構成成分の生体における働きおよびその吸収や代謝について講義すると共に、食の不適当な摂取と疾病との関連についても概説する。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC32251	食品化学	1	1.0	3	春AB	水3	第二エリア	吉田 滋樹	食品の種々の構成成分の構造とその化学的性質、それらの性質に基づいた食品成分の分析法、食品の加工特性や成分変化、食品成分の機能性および安全性などについて解説する。	横断領域科目「食料」対面			生物資源学類	
EC32282	応用生命化学コース専門演習I	2	2.0	3	秋AB	木4,5	第二エリア	平川 秀彦、橋本 義輝、吉田 滋樹、中島(神戸) 敏明、野村 名可男、兼森 芳紀、浦山 俊一	生命科学実験で頻りに用いる実験手法の原理や、それら実験手法の実際の具体的な応用例について演習形式で学ぶ。	対面			生物資源学類	
EC32301	生体模倣化学	1	1.0	3	秋AB	月4	第二エリア	小川 和義	高分子化学の基礎を述べた後に、生体系(主として細胞内)で起こる物質(分子)認識、物質輸送、物質変換、及びエネルギー変換の機構を科学的に導入し人工の材料を用いて生体系と類似の機能を発現させるための手法と、その人工材料系の生体工学や医学の分野への応用に関して口述する。	対面			生物資源学類	
EC32311	環境植物生態化学	1	2.0	3	春AB	月4,5	第二エリア	山路 恵子、春原 由香里	生態系における植物の化学的反応についてとりあげる。授業全般を、人間の活動に伴う生態系の変化に対する植物の反応と、他の生物(植物、微生物、昆虫)との関わり合いにおける植物の反応との2つに分けて、化学的視点から概説し、植物の持つ化学的な環境応答機構について考察する。	EC42031を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC35031	ゲノム情報生物学	1	2.0	3	春AB	水1,2	第二エリア	加香 孝一郎、大徳 浩照	遺伝子・細胞・個体を形成するゲノムとエピゲノムに関する理解が進みつつあり、歴史的発見(DNA-RNA-タンパク質という古典的セントラルドグマ)から最新のセントラルドグマへの変遷を講義形式で概説します。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	
EC35041	環境保全科学	1	2.0	3	秋AB	火1,2	第二エリア	浅野 真希	自然環境の保全と環境保全にかかわる生態系の機能について概説し、生物多様性、地球温暖化等の諸問題について理解を深める。さらに、里山、温泉および森林の保全の課題を取り上げ、その対策や研究方法について解説する。	(コース共通) 応用生命化学コース 環境工学コース 横断領域科目「環境」対面			生物資源学類	
EC35051	サプライチェーン概論	1	1.0	3・4	春C	集中		北村 豊、市川 創作	高品質かつ安全安心なサプライチェーンを支えるフードビジネスの役割や使命を解説する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース 7/24、7/25 オンライン(オンデマンド室)			生物資源学類	○
EC35061	サステナビリティマネジメント論	1	1.0	2・3	春C	集中		北村 豊、市川 創作	サプライチェーン全体と、それぞれの段階における環境や労働安全も含めたサステナビリティ管理手法とこれを確認する監査手法について解説する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命化学コース 環境工学コース 社会経済学コース 7/18、7/19 オンライン(オンデマンド室)			生物資源学類	○

専門科目II(環境工学コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC33111	水資源環境工学	1	2.0	3	春AB	月5,6	第二エリア	石井 敬	水資源の需要と供給、水資源利用のあり方について講述する。水資源から見た河川の特徴、水資源開発施設の計画と管理、農業用水と都市用水の利用、水利権および水管理制度などを対象とし、開発途上国における灌漑の開発と管理についても講述する。	横断領域科目「環境」EC33121、EC33111を修得済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC33171	生物機械工学	1	2.0	3	春AB	月1,2	第二エリア	トファエル Aハメド	農林業、畜産業などに利用される農業機械、農業ロボット、精密農業におけるフィールドセンシングや制御技術を解説する。また、エネルギー源として利用される内燃機関や電動化、バイオマスエネルギー利用問題とのかわり方を解説する。	対面			生物資源学類	
EC33181	複合材料工学	1	1.0	3	秋AB	火5	第二エリア	堀山 幹夫	2年次に開講されている高分子科学では主に直鎖状の熱可塑性樹脂について学んだ。ここでは架橋反応を中心に、複合材料の主成分として用いられることが多い熱硬化性樹脂について学習し、複合材料の成り立ちについて講義する。	2026年度以降開講なし 対面			生物資源学類	
EC33211	森林材料利用化学	1	1.0	3	春AB	金2	第二エリア	中川 明子	生物材料(特に木材)の細胞壁構造および化学成分的特徴と利用技術(紙パルプ製造法、抽出成分、木材保存)について解説する。	横断領域科目「国際」EC33211を履修済みのものは履修できない。			生物資源学類	
EC33311	流域保全学	1	1.0	3	春A	火1,2	第二エリア	内田 太郎、奈佐 原 顕郎、山川 陽祐	土砂災害、水災害、環境問題に対処し、流域を保全していくために、上流から下流への水・土の移動現象を論じるとともに森林・生態系への影響、災害対策について人間活動との関わりから解説する。	EC33301を履修済みの者は履修できない。対面			生物資源学類	
EC33313	食と緑の環境工学インターンシップ	3	2.0	3	夏季休業中 秋ABC	応談		小林 幹佳 他 環境工学コース教員	環境工学コースの研究分野(土・水と森林、環境工学とエコロジー、食品とバイオエネルギー、農業機械・ロボット、木材とバイオマス)にかかわりの深い国や地方、民間の研究機関、行政組織やNPO、農場や工場などの現場で職業体験を行い、自己のキャリアアップに資する。	原則として環境工学コースの学生を対象とする。GDP 対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC33321	砂防学	1	1.0	3	春B	火1,2	第二エリア	内田 太郎、奈佐 原 顕郎、山川 陽祐	国内外で深刻な土砂災害が頻発している。また、気候変動により、将来さらなる被害の発生が懸念されている。本講義では、土砂災害の実態、発生機構、対策技術について学習する。その上で、国土の保全、防災全般について考える。	EC33311を受講していることが望ましい。対面			生物資源学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC33361	Environmental Colloid Engineering	1	1.0	3・4	春C	火5,6	第二エリア	小林 幹佳	Applications of colloid and interface science to environmental issue and its basis are given. Focus will be placed on the flocculation which is important to control soil and water quality. Current topics related to microbiology and ecosystem will be lectured.	EG60161と同一。英語で授業。対面			生物資源学類	
EC33363	森林水文・砂防学実習	3	1.0	3	春C	集中		山川 陽祐, 奈佐原 顕郎, 内田 太郎, 大澤 光	山岳科学センター井川演習林などをフィールドとして、森林流域での水・土砂流出の調査法を習得する。実際に計測されたデータを題材として、森林の水環境や、山地での土砂移動プロセスを理解し、流域環境のあり方や管理の課題について考察する。	説明会を実施して参加の意思を確認するためにTINS掲示を確認すること。7/28-8/1対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC33391	木材加工学	1	1.0	3	春AB	金1	第二エリア	小幡谷 英一	最も有用な生物資源材料である木材を有効利用するためには、その特性を理解した上で、用途に応じて適切に加工しなければならない。本講義では、物理加工および化学加工に関する最新の論文を題材にして、木材の加工に関わる理論と技術を学ぶ。	EC33191を修得済みの者は履修できない。対面		生物資源学類		
EC33393	生物機械工学実習	3	1.0	3	春C	集中		トファエル, アハメド, 安久 絵里子	農業機械を用いた農作業を通じて、機械の操作、利用技術を習得するとともに、ガソリンエンジンの分解組立を行い内燃機関への理解を深める。また、農作業利用、農業情報利用のためのUAV（ドローン）による操縦技術を学ぶ。	受入れ上限数を15名程度とする。また、希望履修者数が多い場合は、環境工学科に所属する学生を優先する場合がある。日程はシラバスを参照。7/14-7/17対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC33401	生物材料学	1	1.0	3・4	春AB	火3	第二エリア	江前 敏晴	森林資源から生産される工業製品の「紙」について、製紙技術の歴史の変遷を解説した後、生物材料加工プロセスとしての製紙工程の技術、繊維材料の物理特性やその分析技術の基礎科学を学ぶ。水との相互作用、光の反射と拡散などの光学特性、弾性率、引張強度などの力学特性などを基礎からやさしく説明する。紙デバイスの創製、紙文化財保存科学、海洋資源からの紙生産などにも言及する。	2026年度以降開講なし。対面		生物資源学類		
EC33433	生物材料学実験	3	1.0	3	春AB	水4,5		梶山 幹夫, 中川 明子, 小幡谷 英一, 江前 敏晴	木材の物理的・力学的特性、および建築廃材、古紙等の利用を実験を通して理解する。植物材料の化学的性質を理解するために、主要成分の化学分析を行う。また、木質材料やパルプの製造を通して身近な材料としての木材の利用を理解する。	EC33463を修得した者は履修できない。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC33443	測量学実習	3	2.0	3	春AB 春C	金4-6 集中	第二エリア	山下 祐司, 石井 敦	「測量学 (EC33241)」の講義の内容を踏まえ、距離測量、水準測量、GNSS測量、トータルステーション測量、平板測量を実際におこない、主として農林地を対象とした測量技術を身に付ける。	「測量学」履修者に限る。7/8-7/11対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC33523	木材加工学実習	3	2.0	3	秋AB	水3-6	T-PIRC 農場	小幡谷 英一, 中川 明子, 梶山 幹夫	様々な主工を用いた木製品の製作を通じ、中級技術の教員に必要な木材加工の基礎知識と応用技術を学ぶとともに、実験系の研究を行う上で不可欠な、材料選択、構造設計、材料加工の技術を習得する。	EC33423を修得済みの者は履修できない。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC33581	流域計測工学	1	2.0	3	秋AB	月5,6	第二エリア	奈佐原 顕郎, 内田 太郎, 山川 陽祐	防災・農業・国土保全・水資源管理などを「流域」で考える上で、光、水、植生、地形などに関する基本的なデータが必要である。本講義で、これらについて、地上・航空機・ドローンを含む・人工衛星を組み合わせた各種の計測方法を学ぶ。物理学的背景、原理、実際の操作、データ解析、観測計画について理解を深める。	EC33141、EC33581を修得済みの者は履修できない。対面		生物資源学類		
EC33591	環境修復生物学	1	1.0	3	秋AB	月4	第二エリア	内海 真生, 楊 英男	地球規模の環境問題や環境汚染、浄水・下水処理に対して植物や微生物の働きを最大限活用することが求められている。ファイトレメディエーション、バイオレメディエーションの基礎および応用について具体的な手法やその展開、さらには、その問題点などを講述する。	対面		生物資源学類		
EC33601	水圏環境工学	1	2.0	3	春AB	水1,2	第二エリア	内海 真生, 楊 英男, 雷 中方	上水道及び下水道の処理プロセスに関し、先端の高度処理を含め、処理技術の動向、要素技術、仕組みおよびシステム化について講述する他、海洋を含む水圏での微生物と物質循環との関係についても講述する。	対面		生物資源学類		
EC33613	機械・食品工学実験	3	1.0	3	春AB	木4,5		北村 豊, 楊 英男, 雷 中方, トファエル, アハメド, ネヴェスマルコス, アントニオ, 原 田	生物機械工学および食品プロセス工学の講義と関連させながら、一連の「ものづくり」体験を通じて、当該学問分野の知識、実験・解析手法を習得させる。具体的には、ソーラーカー、温室、農産物、食品、機能性食素材、食品残渣（バイオマス）、食品廃水等を対象とする単位操作（設計、試験、施工、環境計測、制御、乾燥、粉碎、減容、物性測定、微細化、コロイド化など）に関する実験を行う。	受入れ上限数20名程度。対面	△	受講者数又は教室等に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC33651	再生可能エネルギーと生物資源循環技術	1	2.0	3	秋AB	金3,4	第二エリア	北村 豊, ネヴェスマルコス, アントニオ, 雷 中方, 中嶋 光敏, 原 田	生物資源の高度利用の一環として、バイオマスのエネルギーや素材への変換や利用技術について解説する。また自然エネルギーに関する最新技術や普及動向などについても言及して、再生可能エネルギーを活用する資源循環型社会の構築について考察する。	国立台湾大学とのジョイント講義（一部遠隔授業）。EC33201、EC33041を修得済みの者は履修できない。EG60661と同一。英語で授業。対面		生物資源学類		
EC33671	食品プロセス工学	1	2.0	3	春AB	木2,3	第二エリア	北村 豊, ネヴェスマルコス, アントニオ, 粉川 美踏	農産物や食品の品質や安全性を損なうことなく効率的に生産・加工するための単位操作（選別、殺菌、乾燥、粉碎、冷蔵、濃縮、乳化、分級、沈降・遠心分離、平衡、抽出、吸着、保存、ろ過、膜分離、蒸留、蒸発、発酵、酵素処理など）を解説する。	EC33101、EC42021を修得済みの者は履修できない。対面		生物資源学類		
EC33692	生物資源工学技術演習	2	3.0	3・4	秋ABC	月2,3	第二エリア	北村 豊, ネヴェスマルコス, アントニオ, トファエル, アハメド, 中嶋 光敏	生物資源の利活用における技術や工学の体系すなわちBiosystems Engineeringに関する専門的かつ最新の研究や知見を、論文の概要作成やプレゼンテーションなどの演習を通じて学習する。	授業の多くを京都大学・国立台湾大学との共同・オンライン（英語）により行う。EC33682を修得済みの者は履修できない。EG60022と同一。英語で授業。遠隔授業。対面		生物資源学類		

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC35013	森林総合実習	3	1.0	3	夏季休業中	集中	ハケ岳演習林	清野 達之、小幡谷 英一、中川 明子、津田 吉晃	山岳科学センターハケ岳・川上演習林において、森林動植物の観察、樹木調査、森林管理の体験をするとともに、樹木の生態・生理に関する知識、動物と森林の関わりや森林の利用を習得して樹木と森林の役割を総合的に理解する。	(コース共通) 農林生物学コース 環境工学コース EC31323を修得済みの者は履修できない。履修人数の制限を行う場合がある。実習のガイダンスと人数調整を行なうので本実習履修希望者は必ず出席すること。募集する場所についてはTWINS掲示板で確認すること。開催場所を筑波地区等に変更する場合がある。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生物資源学類	
EC35021	植物育種学	1	2.0	3	春AB 秋AB	月4 金4	第二エリア	吉岡 洋輔、野中 聡子	作物の品種改良には、対象作物における遺伝的変異の創出・拡大、希望型の選抜・固定化および品種・系統の維持・増殖等に関する知識と技術が必要とされる。本講義では(1)育種学の基礎(2)植物遺伝資源の収集と保存(3)遺伝的変異の創出・拡大技術と育種法、および(4)主要作物における育種目標について概説する。	(コース共通) 農林生物学コース 環境工学コース 横断領域科目「食料」「国際」対面			生物資源学類	
EC35031	ゲノム情報生物学	1	2.0	3	春AB	水1,2	第二エリア	加香 孝一郎、大徳 浩照	遺伝子・細胞・個体を形成するゲノムとエピゲノムに関する理解が進みつつあり、歴史的発見(DNA-RNA-タンパク質という古典的セントラルドグマ)から最新のセントラルドグマへの変遷を講義形式で概説します。	(コース共通) 応用生命科学コース 環境工学コース 対面			生物資源学類	
EC35041	環境保全科学	1	2.0	3	秋AB	火1,2	第二エリア	浅野 真希	自然環境の保全と環境保全にかかわる生態系の機能について概説し、生物多様性、地球温暖化等の諸問題について理解を深める。さらに、里山、湿原および森林の保全の課題を取り上げ、その対策や研究方法について概説する。	(コース共通) 応用生命科学コース 環境工学コース 横断領域科目「環境」対面			生物資源学類	
EC35051	サプライチェーン概論	1	1.0	3・4	春C	集中		北村 豊、市川 創作	高品質かつ安全安心なサプライチェーンを支えるフードビジネスの役割や使命を解説する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 社会経済学コース 7/24、7/25 オンライン(オンデマンド型)				○
EC35061	サステナビリティマネジメント論	1	1.0	2・3	春C	集中		北村 豊、市川 創作	サプライチェーン全体と、それぞれの段階における環境や労働安全も含めたサステナビリティ管理手法とこれを確認する監査手法について解説する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 社会経済学コース 7/18、7/19 オンライン(オンデマンド型)				○
EC35071	環境経済評価論	1	1.0	3	春AB	月4	第二エリア	水野谷 剛	環境総合評価に必要な環境経済学的知識、評価手法とその実践例の解説を行う。	EC33021、EC33611、EC33621、EC33641を修得済みの者は履修できない。(コース共通)環境工学コース 社会経済学コース 対面			生物資源学類	
EC35081	農村・農地工学	1	2.0	3	秋AB	月1,2	第二エリア	石井 敦	食糧自給率の向上が緊急の課題となっているなか、農地の生産力を高めることが必要となり、また、農村には生産だけでなく農村環境の保全が求められるようになっており、農村あるいは農業を多角的に理解しなければならない。この講義では、農村の土地利用計画、水田や畑の保全・整備に関わる計画等について講述する。	「生産基盤工学(EC33151)」、「農村計画学(EC33271)」、「農村・農地工学(EC33151)」を修得済みの者は履修できない。(コース共通)環境工学コース 社会経済学コース 対面			生物資源学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC35091	食品衛生管理と品質評価学	1	2.0	3	秋AB	水5,6	第二エリア	粉川 美踏, 北村 豊, ネヴェス マルコス, アントニオ, 内海 真生, 中嶋 光敏	農産物や食品の物理・生化学的特性、健康機能性および加工流通のためのポストハーベスト・食品加工の技術を学習する。また食品の安全安心のための基礎知識やマネージメントシステム、関係法令や認証制度についても解説する。	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。(コース共通)環境工学コース社会経済学コースEG60671と同一。対面			生物資源学類	

専門科目II(社会経済コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC34012	社会調査論演習A	2	2.0	3	春AB	火5,6	第二エリア	興梠 克久, 首藤 久人, 氏家 清和	社会調査を実施するために必要な調査構想、事前準備、調査票作成、分析等について演習を通して理解を深める。	原則として社会経済学コースの学生に限る。社会調査論演習Bを受講することが望ましい。対面	△	受講者数又は教室等に余裕がある場合に限る	生物資源学類	
EC34021	食料経済分析論	1	2.0	3	秋AB	金5,6	第二エリア	首藤 久人	食料および関連市場を対象に、経済学の諸概念、経済発展の問題、数量分析の基礎を学ぶ。	横断領域科目「食料」「国際」対面			生物資源学類	
EC34022	社会調査論演習B	2	2.0	3	秋AB	火5,6	第二エリア	氏家 清和, 首藤 久人, 興梠 克久	社会調査データを分析するために必要な調査項目作成、データマネージメント、可視化、定量分析手法等について演習を通して理解を深める。	原則として社会経済学コースの学生に限る。社会調査論演習Aを受講することが望ましい。対面	△	受講者数又は教室等に余裕がある場合に限る	生物資源学類	
EC34041	フードシステム論	1	2.0	3	春AB	木5,6	第二エリア	氏家 清和	日本並びに海外の食料をめぐる諸問題、その背景にあるアグリビジネス企業や食料消費行動の特徴、ならびにそれらを理解するための体系的な視座について、比較的新しい研究成果も踏まえつつ講述する。	横断領域科目「食料」「国際」対面			生物資源学類	
EC34132	森林管理学演習	2	2.0	3	秋AB	火1,2	第二エリア	興梠 克久	森林管理学にかかわる文献および資料を取り上げ、その講読と討論を通して、現在の森林管理問題について認識を深める。	対面			生物資源学類	
EC34142	社会経済学コース演習	2	2.0	3	通年	応談		興梠 克久, 首藤 久人, 氏家 清和	卒業研究の課題設定、方法論の選択、仮説の構築、文献資料の検索、統計資料の分析、フィールド調査など、卒業研究にあたって基礎的な考え方や方法論を指導責任教員のもとで学ぶ。	社会経済学コース卒業研究予定者に限る。各指導教員と応談。対面			生物資源学類	
EC34151	農林業改良普及論	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中		氏家 清和, 上原 健一, 石田 大喜, 飯田 幸彦	農林業の振興と農家の生活改善及び農林業の担い手育成に大きな役割を果たしている普及事業の歴史と現状を概説し、普及原理と普及方法の基礎的理論を講述する。	西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面			生物資源学類	
EC34171	資源環境経済学	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中		首藤 久人, 加藤 弘二	資源、環境問題の全体を鳥瞰するとともに、経済学的话题を積みながら農業と環境、農林業における資源問題、環境問題を理解し、経済学的、制度的な課題を学ぶ。	西暦奇数年度開講。対面			生物資源学類	
EC34381	International Agricultural and Forestry Policies II	1	1.0	3・4	夏季休業中	集中		首藤 久人, 飯山 みゆき, 石崎 涼子	Lectures will cover the topics in policies for agriculture, food, forestry, and environmental management related to agriculture and forestry in the world.	平成29年度までの「International Agricultural and Forestry Policies」(EC34081)を履修済みの者は履修できない。西暦奇数年度開講。西暦奇数年度開講。EG60621と同一。英語で授業。実務経験教員。対面			生物資源学類	
EC35051	サプライチェーン概論	1	1.0	3・4	春C	集中		北村 豊, 市川 創作	高品質かつ安全安心なサプライチェーンを支えるフードビジネスの役割や使命を解説する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 社会経済学コース 7/24, 7/25 オンライン(オンデマンド型)			生物資源学類	○
EC35061	サステナビリティマネジメント論	1	1.0	2・3	春C	集中		北村 豊, 市川 創作	サプライチェーン全体と、それぞれの段階における環境や労働安全も含めたサステナビリティ管理手法とこれを確認する監査手法について解説する。	(コース共通) 農林生物学コース 応用生命科学コース 環境工学コース 社会経済学コース 7/18, 7/19 オンライン(オンデマンド型)			生物資源学類	○
EC35071	環境経済評価論	1	1.0	3	春AB	月4	第二エリア	水野谷 剛	環境総合評価に必要な環境経済学的知識、評価手法とその実践例の解説を行う。	EC33021, EC33611, EC33621, EC33641を修得済みの者は履修できない。(コース共通)環境工学コース社会経済学コース対面			生物資源学類	
EC35081	農村・農地工学	1	2.0	3	秋AB	月1,2	第二エリア	石井 敦	食糧自給率の向上が緊急の課題となっているが、農地の生産力を高めることが必要となり、また、農村には生産だけでなく農村環境の保全が求められるようになっており、農村あるいは農業を多角的に理解しなければならない。この講義では、農村の土地利用計画、水田や畑の保全・整備に関わる計画等について講述する。	「生産基盤工学(EC33151)」、「農村計画学(EC33271)」、「農村・農地工学(EC33151)」を修得済みの者は履修できない。(コース共通)環境工学コース 社会経済学コース対面			生物資源学類	
EC35091	食品衛生管理と品質評価学	1	2.0	3	秋AB	水5,6	第二エリア	粉川 美踏, 北村 豊, ネヴェス マルコス, アントニオ, 内海 真生, 中嶋 光敏	農産物や食品の物理・生化学的特性、健康機能性および加工流通のためのポストハーベスト・食品加工の技術を学習する。また食品の安全安心のための基礎知識やマネージメントシステム、関係法令や認証制度についても解説する。	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。(コース共通)環境工学コース社会経済学コースEG60671と同一。対面			生物資源学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC35101	林業経営体論	1	2.0	3	春AB	月1.2	第二エリア	興梠 克久	森林環境と人間社会の諸々の相互関係を社会科学学的に追究する一環として、持続可能な地域森林管理(SFM)の主体形成の理論的枠組み(主として政治経済学、環境社会学および村落社会学等)、実証研究の紹介およびSFM構築に向けた課題を検討する。	「森林環境社会論」(EC34071)、「林業経営体論」(EC34071)を修得した者は履修できない。(コース共通) 農林生物学コース 社会経済学コース 横断領域科目「環境」「国際」対面			生物資源学類	

専門科目II(横断領域科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EC42001	環境有機農業論	1	2.0	3・4	秋AB	月5.6	第二エリア	浅野 真希, 古川 純, 新井 真由美	有機農業推進に関する日本の方針などを紹介しながら、有機栽培に関する技術の開発や普及および食育等について説明・解説する。本米作物(雑穀)が要求する要素を確認した上で、有機的農業で極めて重要となる土壌作りに関して、科学的な解説と実践的な事例を紹介しながら進める。本講義は、オムニバースタイルで行う。	横断領域科目「食料」「環境」対面			生物資源学類	
EC42023	有機農業実習	3	1.0	3・4	夏季休業中	集中		浅野 真希	無肥料、無農薬圃場(自然栽培圃場)において、有機農業、とくに自然栽培法について学習する(3泊4日の宿泊学習)。自家採種、無肥料、無農薬による栽培法について理解を深める。圃場の土壌調査から行う。	詳細はシラバス参照のこと。事前に実習ガイダンスを行うので、受講希望者は必ず出席すること。EC42013を修得済みの者は履修できない。横断領域科目「食料」。	△	受講者数又は教室等に余裕がある場合に限る	生物資源学類	
EC42071	造園学	1	1.0	3・4	秋B	集中		上條 隆志, 黒田 乃生, 伊藤 弘, 飯田 義彦	人の生活環境の構成に果たす造園学の役割とその基本的視点について、風景、緑地、庭園、造園に用いる樹木などに着目しながら講述するとともに、その計画や設計、施工に際して必須な基礎的概念や基本的知見について説明する。	横断領域科目「環境」。2025年度以降開講されない場合がある。対面			生物資源学類	

地球学類

地球学類(その他)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE00001	地球学序説	1	1.0	1-4	春C	水1,2		池田 敦, 上松 佐知子, 藤野 滋弘, 八木 勇治, 角替 敏昭, 黒澤 正紀, 丸岡 照幸, 八反地 剛, 釜江 陽一, 高橋 純子, 山中 勲	地球の内部および表層の構造・運動・変遷について、宇宙との関連性や環境問題、自然災害等の視座などを踏まえながら講述する。学習指導要領「中学理科」「地球基礎」「地球」に記載された基礎的事項および関連事項を網羅的に理解し、授業指導に生かすことができるようになることを到達目標とする。	地球学類生および教職課程で「理科」の免許状を取得できない学類の在籍者は履修できない。総合学域群生で理科の免許状取得を希望する者の履修は認めない。オンライン(オンデマンド型)成績は、小テストもしくはレポートで評価する。小テストかレポートかは担当回の教員による。	△	教員免許状取得目的の者に限る	地球学類	○
EE11333	地球学実験	3	1.0	2	春C	水3-6	第一エリア	藤野 滋弘, 高橋 純子, 上松 佐知子, 池端 慶, 興野 純, 黒澤 正紀, 丸岡 照幸, 奥脇 亮, 田中 康平, ドアングアン ヴァン, 池田 敦, 浅沼 順	地図・航空写真・気象の基礎的な野外観察・観測法。地層・化石・岩石・鉱物などの基礎的な取り扱い方・観察方法・データ処理を実習する。教科書は「地球学調査・解析の基礎」(古今書院)。	地球学類生は履修できない。対面一部オンラインで実施する可能性がある。	△	筑波大学大学院に在籍する者又は筑波大学卒業生で教育職員免許状取得目的の者に限り、担当教員が受け持ち人数を見て判断し、受け入れることがある。	地球学類	

地球学類共通(1年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE11151	地球環境学1	1	1.0	1	春BC	NT		日下 博幸, 植田 宏昭, 辻村 真貴, 山中 勲, 浅沼 順, 松下 文経, 加藤 弘亮, 釜江 陽一, ドアングアン ヴァン	地球環境学の基礎を体系的に学ぶ。本講義では、はじめに、地球環境システム全体の概要説明を行う。その後、各論として大気・海洋システム、水循環システムの講義を行う。教科書は「地球環境学」(古今書院)。	「地球環境学A」修得済みの者は履修できない。主専攻必修科目。G科目。専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)	△	教員免許状取得目的の者に限る	地球学類	○
EE12103	地球学実験	3	1.0	2	春AB 春C	月4,5 集中	第一エリア	藤野 滋弘, 高橋 純子, 上松 佐知子, 池端 慶, 興野 純, 黒澤 正紀, 丸岡 照幸, 田中 康平, 山下 亜紀郎, 八反地 剛, 日下 博幸, 浅沼 順, 鎌田 祥仁	地球環境学に関する地図・航空写真・気象の基礎的な野外観察・観測法。地層・化石・岩石・鉱物などの基礎的な取り扱い方・観察方法・データ処理を実習する。教科書は「地球学調査・解析の基礎」(古今書院)。	地球学類生に限る。対面	△	筑波大学大学院に在籍する者又は筑波大学卒業生で教育職員免許状取得目的の者に限り、担当教員が受け持ち人数を見て判断し、受け入れることがある。	地球学類	

地球学類共通(2年次)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE11831	地球統計学	1	1.0	2	秋AB	金1	第一エリア	浅沼 順, 高橋 純子	地球学において、取得したデータの処理・解釈に必要な統計手法の概念から始まり、実際の応用事例を課題として用いながら、わかりやすく解説する。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること。対面			地球学類	
EE11871	地球情報学	1	1.0	2	秋A	金3,4	第一エリア	日下 博幸, 釜江 陽一, ドアングアン ヴァン	Linuxコマンドの基礎およびFortran95とPythonによるプログラミングの講義と実習を行う。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること。対面			地球学類	
EE11881	地球基礎数学・物理学	1	2.0	2	春AB	金1,2	第一エリア	津旨 大輔, ドアングアン ヴァン, 八木 勇治	地球学に必要な基礎的な数学と物理学を取り扱う。線形代数・常微分方程式・ベクトル解析・フーリエ級数・偏微分方程式などの物理学や、連続体力学の基礎に関して解説する。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること。対面			地球学類	
EE11891	地球基礎化学	1	1.0	2	秋AB	金2	第一エリア	丸岡 照幸	地球学類の専門科目に関連する物理化学・無機化学・分析化学の基礎を概説する。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること。対面			地球学類	
EE11911	地球学野外調査法	1	2.0	2	秋AB	月4,5	第一エリア	鎌田 祥仁, 池田 敦, 黒澤 正紀, 氏家 恒太郎, 上松 佐知子, 山中 勲, 久保 倫子, 山下 亜紀郎, 日下 博幸, 高橋 純子	前半では地質調査に必要な基礎的事項(地質図の読み方、書き方、岩石鑑定など)について解説する。後半には大気・水文・地形現象および人文地理・地誌に関する野外調査・観測・解析手法を解説する。	「地球環境学A・B・1・2」「地球進化学A・B・1・2」のいずれかを履修していること。「地球学野外調査法(EI1901)」を取得済みの者は履修できない。対面			地球学類	

地球環境学主専攻

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE21141	人文地理学	1	1.0	2	春AB	火1	第一エリア	松井 圭介	人文地理学の課題と内容、基本的な考え方などについて、位置・分布・地域・環境・景観・空間的相互作用などの主要な概念ごとに、具体的な事例をあげながら説明する。	「人文地理学(EI21131)」を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE21241	地誌学	1	1.0	2	春AB	木1	第一エリア	山下 亜紀郎	まず、地誌学的研究の基礎である各種の地域概念や地域モデルについて説明し、次に、具体的な研究事例として、おもに日本も含めたアジアの都市発展と環境問題について紹介する。	「地誌学(EI21231)」を修得済みのものは履修できない。対面			地球学類	
EE21301	都市地理学	1	1.0	3	秋AB	火3	第一エリア	久保 倫子	都市地理学の基礎的事項として、都市化、都市システム、都市の内部構造などについて、日本および世界の各地の事例を取り上げながら学習する。	「歴史地理学特講111-B」を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE21321	農村地理学	1	1.0	3-4	秋AB	金3	第一エリア	森本 健弘	現代の農村は農業(第一次産業)の文脈のみで理解できる地域ではなく、経済・社会・文化の面で多様な性格をもつ空間となっている。こうした視点から現代農村の地理学を考える。	対面			地球学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE21401	経済地域論	1	1.0	3・4	春AB	金3	第一エリア	堤 純	地球構造をとらえる着眼点,具体的な研究事例について講義する。とくに,経済的な条件が自然条件や社会・文化的な要因と運動して地域を変容させるプロセスをテーマとしてとりあげる。	対面			地球学類	
EE21411	観光地域論	1	1.0	3・4	春AB	火2	第一エリア	呉羽 正昭	地球構造をとらえる着眼点,具体的な研究事例について講義する。とくに,日本の観光地域を対象として,その空間的展開や変容プロセスに関するテーマをとりあげる。	対面			地球学類	
EE21492	人文地理学・地誌学セミナーA	2	1.0	3	秋AB	金2	第一エリア	堤 純	人文地理学・地誌学に関する国内外の最近の文献を講読し,研究動向を学ぶとともに,人文地理学・地誌学の考え方や実際の方法を習得する。	対面			地球学類	
EE21502	人文地理学・地誌学セミナーB	2	1.0	3	春AB	金2	第一エリア	山下 亜紀郎	人文地理学・地誌学に関する国内外の最近の文献を講読し,研究動向を学ぶとともに,人文地理学・地誌学の考え方や実際の方法を習得する。	対面			地球学類	
EE21533	人文地理学・地誌学実験A	3	1.0	3	春AB	水3,4	第一エリア	山下 亜紀郎,松井 健一	地球上に展開する人文地理学・地誌学的現象の各種調査法,計量的分析法を具体的な事例をもとにして習得する。	原則地球学類生に限る。「人文地理学・地誌学実験B」を合わせて履修すること。「文化地理学実験実習I」を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE21543	人文地理学・地誌学実験B	3	1.0	3	秋AB	水3,4	第一エリア	山下 亜紀郎,松井 健一	地球上に展開する人文地理学・地誌学的現象の各種調査法,計量的分析法を具体的な事例をもとにして習得する。	原則地球学類生に限る。「人文地理学・地誌学実験A」を合わせて履修すること。「文化地理学実験実習II」を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE21681	世界地誌II	1	1.0	3・4	春AB	水6	第一エリア	松井 健一	さまざまな国の人々の暮らしや文化,歴史について特定の地理的環境と関連させて考察する。特に,ブラジル,カナダ,パングラデシュ,ベトナム,キルギス,モンゴル,ブータンなどの国における水環境と山岳地帯・高原地域に焦点をあてる。こうした知識から世界各地における多様な暮らしを比較的に分析する視野を涵養し,国際的視野を醸成する。	西暦奇数年度開講。6科目,対面			地球学類	
EE21741	世界地誌IV	1	1.0	3・4	秋AB	木6	第一エリア	呉羽 正昭	ヨーロッパの自然と文化について解説する。	西暦奇数年度開講。6科目,対面			地球学類	
EE22131	地形学	1	1.0	2	秋AB	火2	第一エリア	池田 敦,八反地剛,関口 智寛	地球内部のエネルギーによって生じる変動地形,火山地形と,大気や水の動態を反映する多様な風化・侵食・堆積プロセスとそれらが生む地形を概説する。	「地形学(EE22121)」を修得済みの者は履修できない。対面(オンライン併用型)オンラインは50%以下			地球学類	
EE22221	大気科学	1	1.0	2	春AB	火2	第一エリア	釜江 陽一,ドアングアン ヴァン	放射・熱収支,大気循環,総観規模擾乱,接地域境界層,降水過程,気候変動・異常気象といった基礎的な大気現象の仕組みを学ぶ。広く地球科学に関わる調査研究の際に役立つと思われる,天気予報や気象データの原理・収集方法に関する解説も行う。	「大気科学(EE22211)」を修得済みの者は履修できない。対面(オンライン併用型)			地球学類	
EE22351	水文科学	1	1.0	2	春AB	木2	第一エリア	山中 勤,辻村 真貴,浅沼 順	水文科学の基礎的概念である水循環を支配している諸法則について述べ,降水,蒸発,流出,浸透等の諸過程を解説する。また,水循環の諸過程における現象解明のために用いられる測定手法について解説し,いくつかの実例をもとに水文現象解明のプロセスを紹介する。教科書は「水文科学」(共立出版)	「水文科学(EE22321)」を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE22401	斜面プロセス学	1	1.0	3	春AB	木3	第一エリア	八反地 剛	山地や丘陵地の斜面で生起するマスマーブメントや侵食プロセスについて,基礎的,応用的な観点から講義する。	対面(オンライン併用型)オンラインは50%以下			地球学類	
EE22402	地形学演習A	2	1.0	3	春AB	木2	第一エリア	池田 敦,八反地剛,関口 智寛,パークナー トーマス	論文の読解能力を養うことを目的として各自が地形に関連する論文(日本語)の内容を紹介する形式で演習を行う。また,研究法を重点的に討論する。	原則として「地形学」を履修済であること。対面			地球学類	
EE22411	堆積プロセス学	1	1.0	3	秋AB	木3	第一エリア	関口 智寛	河川・海岸で生起する流体運動と堆積プロセス,それによって形成される堆積地形について論ずる。	「地形プロセス実験A」を同時履修すること。対面2回目以降,CRiES環境動態研究会議室で行う。			地球学類	
EE22412	地形学演習B	2	1.0	3	秋AB	木2	第一エリア	八反地 剛,池田敦,関口 智寛,パークナー トーマス	専門的知識の収集および読解能力を養うことを目的として,各自が地形に関連する文献(外国語を含む)の内容を紹介する形式で演習を行う。	原則として「地形学演習A」を履修済であること。対面			地球学類	
EE22413	地形プロセス実験A	3	1.0	3	秋AB	木4,5	第一エリア	関口 智寛,池田敦	読図・空中写真判読ならびに河川・海岸での流体運動や堆積プロセスに関する水理実験等を行う。	「堆積プロセス学」を同時履修すること。対面2回目以降,CRiES環境動態研究会議室で行う。			地球学類	
EE22423	地形プロセス実験B	3	1.0	3	春AB 春C	木4,5 集中	第一エリア	八反地 剛,池田敦	山地斜面における地形プロセスの基礎的実験,安定解析などの計算実習,測量・GIS等の実習を行う。	対面			地球学類	
EE22471	氷河凍土学	1	1.0	3	春AB	金1	第一エリア	池田 敦	氷河や凍土の生成と動態,それらに伴う地形変化,第四紀の氷床変動について論ずる。	「地形学」を履修済であること。対面(オンライン併用型)			地球学類	
EE22501	大気力学	1	1.0	3	春AB	火3	第一エリア	釜江 陽一,ドアングアン ヴァン	大気の運動及びその平衡状態である気候の理解のために必要な大気力学・熱力学の基礎を説明すると共に,大気循環のメカニズムについて解説する。	対面			地球学類	
EE22511	気象学	1	1.0	3	春BC	水2	第一エリア	日下 博幸	マイクロスケールとメソスケール現象の基礎理論を理解する。理論式や概念モデルを用いた定量的な解析を行い,その結果について議論する。	「大気科学」「大気力学」「気候システム学」の受講が望ましい。対面感染拡大状況によっては,対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE22521	気候システム学	1	1.0	3	秋AB	火2	第一エリア	植田 宏昭	大気・海洋・陸面間の相互作用の視点から、地球の気候システムのメカニズムを説明し、地球温暖化や異常気象などに代表される地球規模の気候変動現象への多角的なアプローチ方法を修得する。	対面			地球学類	
EE22542	大気科学演習A	2	1.0	3	春AB	火5	第一エリア	釜江 陽一、ドアン グアン ヴァン	大気科学の講義に付随する詳細な解説・演習作業・論文講読などを実施する。テーマ別の全体発表や卒業研究に向けた基礎的なガイダンスを行う。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22552	大気科学演習B	2	1.0	3	秋AB	火5	第一エリア	釜江 陽一、植田 宏昭、日下 博幸	大気科学の講義に付随する詳細な解説・演習作業・論文講読などを実施する。テーマ別の全体発表や卒業研究に向けた基礎的なガイダンスを行う。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22562	大気科学演習C	2	1.0	3	秋AB	火3	第一エリア	釜江 陽一、植田 宏昭、日下 博幸、ドアン グアン ヴァン	大気科学の講義に付随する詳細な解説・演習作業・論文講読などを実施する。テーマ別の全体発表や卒業研究に向けた基礎的なガイダンスを行う。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22563	大気科学実験A	3	1.0	3	春A 春B	金3,4	第一エリア	釜江 陽一、植田 宏昭、日下 博幸、ドアン グアン ヴァン	野外観測実習、GMT・GrADS・フォートラン等を用いた気象データの定量的解析方法、数値シミュレーションの基礎習得を行う。	Aモジュールの気象観測に関する実験はアイソトープ環境動態研究センターで行う。 対面			地球学類	
EE22593	大気科学実験B	3	1.0	3	秋AB	金3,4	第一エリア	日下 博幸、植田 宏昭、釜江 陽一、ドアン グアン ヴァン	数値モデルの基礎を学び、Fortran95を用いて簡単な数値モデルのコードを作成する。また、Pythonを用いたデータ処理、データの可視化(作図)、統計解析の基礎を学ぶ。	対面 「大気科学実験A(EE22563)」を履修していること。 対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22602	水文科学演習A	2	1.0	3	春AB	火4	第一エリア	辻村 真貴、山中 勤、浅沼 順	水文学に関する基礎的文献の講読を中心として、そこで提示される問題点や研究方法について討議する。	「水文科学」を履修済であること。 対面			地球学類	
EE22612	水文科学演習B	2	1.0	3	秋AB	火4	第一エリア	浅沼 順、辻村 真貴、山中 勤	水文学に関する基礎的文献の講読を中心として、そこで提示される問題点や研究方法について討議する。	「水文科学」を履修済であること。 対面			地球学類	
EE22623	水文科学実験A	3	1.0	3	春AB	月4,5	第一エリア	辻村 真貴、山中 勤、浅沼 順	水文学における実験・観測について、基本的に必要な機器の操作・方法を修得する。また、得られたデータの解析方法・整理方法などを重点的に解説し、これを修得する。	「水文科学」を履修済であること。 対面			地球学類	
EE22673	水文科学実験B	3	1.0	3	秋AB	月4,5	第一エリア	浅沼 順、辻村 真貴、山中 勤	水文学における実験・観測について、基本的に必要な機器の操作・方法を修得する。また、得られたデータの解析方法・整理方法などを重点的に解説し、これを修得する。	「水文科学実験B(EE22653)」を修得済みの者は履修できない。 対面			地球学類	
EE22701	地圏水文学	1	1.0	3	春A	月2,火1	第一エリア	辻村 真貴	地下水のあり方に関し、涵養、流動、流出からなる地下水流動系、地表水と地下水の循環プロセス、地質・地形条件と地下水の関係、地下水の起源、流動経路、滞留時間という履歴情報、社会的な地下水問題の諸相、地下水ガバナンスについて、総合的に学ぶ。	「水文科学」を履修済であること。対面を基本とし、状況によりオンライン(同時双方向、オンデマンド)を併用する。			地球学類	
EE22711	気圏水文学	1	1.0	3	春B	月2,火1	第一エリア	浅沼 順	大気中および地表面と大気間の相互作用によって生じる水文プロセスおよびその測定法や推定法についての、基本的な知識を議論する。地表面における水、熱、放射の収支、蒸発散、降水プロセスが中心課題である。『参考書は「水文科学」(共立出版)』	「水文科学」を履修済であること。 対面(オンライン併用型)			地球学類	
EE22721	流域水文学	1	1.0	3	秋AB	月2	第一エリア	山中 勤	流域を単位とし、そこに生じている水循環の実態、環境や人間活動との関係など、水循環の場としての流域のしくみについて詳述する。また、重要な水文過程については現象の理解や予測のための方法論にも焦点をあてる。『参考書は「水文科学」(共立出版)』	「水文科学」を履修済であること。 対面			地球学類	
EE22801	水環境動態論	1	1.0	3	秋AB	火1	第一エリア	恩田 裕一、津旨 大輔、加藤 弘亮、五十嵐 康記、高橋 純子	水循環及び土砂流出プロセスと環境動態の相互作用について、同位体を用いた手法や水文地形的な観点から解説する。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22811	水環境リモートセンシング	1	1.0	3	秋AB	水5	第一エリア	松下 文経	リモートセンシングの基本原則・解析手法と、それを水環境研究への応用などを講義する。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22812	環境動態解析学演習A	2	1.0	3	春AB	金2	第一エリア	恩田 裕一、津旨 大輔、松下 文経、加藤 弘亮、高橋 純子、五十嵐 康記	環境動態解析学に関する基礎的文献の講読を中心として、そこで提示される問題点や研究方法について討議すると共に、卒業研究を逐次発表させ指導する。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22822	環境動態解析学演習B	2	1.0	3	秋AB	金2	第一エリア	恩田 裕一、津旨 大輔、松下 文経、加藤 弘亮、高橋 純子、五十嵐 康記	環境動態解析学に関する基礎的文献の講読を中心として、そこで提示される問題点や研究方法について討議すると共に、卒業研究を逐次発表させ指導する。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22841	環境動態解析学	1	1.0	2	秋AB	木2	第一エリア	恩田 裕一、津旨 大輔、松下 文経、加藤 弘亮、高橋 純子、五十嵐 康記	地球環境動態の解析、シミュレーション方法、環境問題の現状、原因、対策手法を講義する。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE22843	環境動態解析学実験	3	1.0	3	春AB	水4,5		恩田 裕一、津旨 大輔、松下 文経、加藤 弘亮、高橋 純子、五十嵐 康記	環境動態解析学における実験・観測を実際に行ってみることに伴い、機器の操作・方法をさまざまな研究方法を修得する。また、得られたデータの解析方法・整理方法などを重点的に解説し、これを修得する。	対面 感染拡大状況によっては、対面からオンラインに切り替える場合がある。			地球学類	
EE23041	地球学専門英語2A	1	1.0	3	春AB	月3	第一エリア	久保 倫子、恩田 裕一、山中 勤、関口 智寛	地球学に関する英語の論文・専門書・学術雑誌などを読解し、専門用語と学術文章の構造を理解する。	地球環境学専攻必修科目。2クラスに分けて講義を行う。 対面 オンラインの可能性あり。			地球学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE23051	地球学専門英語2B	1	1.0	3	秋AB	月3	第一エリア	久保 倫子, 恩田 裕一, 山中 勳, 関口 智寛	地球科学に関する英語の論文・専門書・学術雑誌などを読解し、専門用語と学術文章の構造を理解する。	地球環境学主専攻必修科目。2クラスに分けて講義を行う。対面 オンラインの可能性あり。			地球学類	

地球進化学主専攻

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE31061	地球学専門英語2A	1	1.0	3	春AB	月3	第一エリア	上松 佐知子, 藤崎 渉	地球科学に関する英語の論文・専門書・学術雑誌などを読解し、専門用語と学術文章の構造を理解する。	地球進化学主専攻必修科目。主専攻必修科目。対面			地球学類	
EE31071	地球学専門英語2B	1	1.0	3	秋AB	月3	第一エリア	上松 佐知子, 藤崎 渉	地球科学に関する英語の論文・専門書・学術雑誌などを読解し、専門用語と学術文章の構造を理解する。	地球進化学主専攻必修科目。主専攻必修科目。対面			地球学類	
EE31131	地球物質科学A	1	1.0	2	春AB	水1	第一エリア	興野 純	地球で起きている多様な現象を理解するために、地球上の固体物質を構成している鉱物を物理化学的視点から理解する必要がある。本講義では、最新の研究成果を織り交ぜながら、様々な場面に観られる鉱物の構造や挙動、物性、成因についての理解を深める。	地球物質科学 (EE31121) を修得済みの者は履修できない。実務経験教員。対面 (オンライン併用型)			地球学類	
EE31141	地球物質科学B	1	1.0	2	秋AB	水1	第一エリア	角替 敏昭, 池端 慶	隕石から地殻・マントル・地球内部物質まで、地球を構成している物質の多様性と安定性の基礎的原理を理解し、それらの物質の変遷や履歴の基本的知識を解説する。	地球物質科学 (EE31121) を修得済みの者は履修できない。対面 (オンライン併用型)			地球学類	
EE31161	生物圏地球科学A	1	1.0	2	春AB	火6	第一エリア	鎌田 祥仁, 藤野 滋弘	地球史における生命活動の実体とそれを取り巻く物質の変遷を中心として、地球環境システムの仕組みと変遷についての基本的知識を解説する。	生物圏地球科学 (EE31101) を修得済みの者は履修できない。受講生は地球学類生に限る。実務経験教員。対面			地球学類	
EE31171	生物圏地球科学B	1	1.0	2	秋AB	火6	第一エリア	上松 佐知子	生命史を理解するための基礎的知識として、化石として保存され易い分類群について、それらの概要を解説する。	生物圏地球科学 (EE31101) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31181	地球変動・資源科学A	1	1.0	2	秋AB	月6	第一エリア	丸岡 照幸, 藤崎 渉	固体地球を構成する物質の循環に関する基礎について解説する。地球内部・表層システムの物質循環、濃集、散逸について講義を行う。	地球変動・資源科学 (EE31111) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31191	地球変動・資源科学B	1	1.0	2	春AB	月6	第一エリア	八木 勇治, 氏家 恒太郎, 奥脇 亮	固体地球を構成する物質の変動に関する基礎について解説する。固体地球の変動とそのメカニズムの基礎について講義を行う。	地球変動・資源科学 (EE31111) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31221	地史学・古生物学A	1	1.0	3・4	春AB	水3	第一エリア	田中 康平	古生物学の基礎的概念を具体的な例をもって解説する。	古生物学 (EE31201) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31231	地史学・古生物学B	1	1.0	3・4	秋AB	水3	第一エリア	上松 佐知子	地史学の基本概念を解説し、太古代から新生代までの層序および地球環境変遷について概説する。	地史学 (EE31211) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31232	地史学・古生物学演習	2	1.0	3・4	春AB	水4	第一エリア	上松 佐知子	地史学・古生物学に関する基礎的な、あるいは最新の論文を調査し内容を討論することで、地史学・古生物学の考え方や実際的な方法を習得する。	地史学・古生物学演習 (EE31542) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31531	地層学A	1	1.0	3・4	春AB	金2	第一エリア	藤野 滋弘	様々な環境でできる地層の特徴や、相対的海水準変動が地層に与える変化など、地層が記録している情報から環境とその変化を読み取るための基礎知識を学ぶ。	地層学 (EE31551) を修得済みの者は履修できない。実務経験教員。対面 (オンライン併用型)			地球学類	
EE31532	地層学演習	2	1.0	3・4	春AB	木5	第一エリア	鎌田 祥仁, 藤野 滋弘	地層学に関する基本的な、あるいは最新のテーマを取り上げ、内外文献の調査、討論を通して地層学の考え方や実際的な方法を習得する。	地層学演習 (EE31562) を修得済みの者は履修できない。実務経験教員。対面			地球学類	
EE31541	地層学B	1	1.0	3・4	秋AB	金2	第一エリア	鎌田 祥仁	地層、特に中古生層に記録された情報を読み取り方や区分方法、地層の堆積環境と地層形成場などについて学ぶ。	地層学 (EE31551) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31561	地球変動科学A	1	1.0	3・4	春AB	火1	第一エリア	氏家 恒太郎	固体地球の変動とそのメカニズムを理解するための講義を行う。地質構造を幾何学的・運動的・力学的側面から体系的に理解するための講義を行う。	地球変動科学 (EE31571) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31572	地球変動科学演習	2	1.0	3・4	春AB	火2	第一エリア	氏家 恒太郎, 八木 勇治, 奥脇 亮	固体地球の変動とそのメカニズムの理解を深めるために、構造地質学や地震学に関する基礎的及び最新のテーマを取り上げ、文献の輪読や演習問題に取り組む。	地球変動科学演習 (EE31582) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31581	地球変動科学B	1	1.0	3・4	秋AB	火2	第一エリア	八木 勇治	固体地球の変動とそのメカニズムを理解するための講義を行う。地震等のダイナミックな変動について、地球物理学を用いて理解するための講義を行う。	地球変動科学 (EE31571) を修得済みの者は履修できない。対面、オンライン (同時双方向型) 対面、オンライン (同時双方向型) で実施する可能性もある			地球学類	
EE31601	岩石学A	1	1.0	3・4	春AB	木2	第一エリア	池端 慶	主に火成岩、火山砕屑物を対象として、その構成鉱物、組織、産状などについて述べ、これらの岩石の物理化学的生成条件と地球における形成過程など、基本的な事項について説明する。	岩石学 (EE31591) を修得済みの者は履修できない。対面 (オンライン併用型)			地球学類	
EE31621	岩石学B	1	1.0	3・4	秋AB	木2	第一エリア	角替 敏昭	主に変成岩を対象として、その構成鉱物、組織、産状などについて述べ、これらの岩石の物理化学的生成条件と地球における形成過程など、基本的な事項について説明する。	岩石学 (EE31591) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31661	地球資源科学A	1	1.0	3・4	春AB	月1	第一エリア	丸岡 照幸, 藤崎 渉	惑星などの太陽系天体における元素の分布、濃縮・分散・循環といった元素の移動に関わる現象を概説する。	地球資源科学 (EE31611) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31671	地球資源科学B	1	1.0	3・4	秋AB	月1	第一エリア	丸岡 照幸, 藤崎 渉	惑星などの太陽系天体における元素の分布、濃縮・分散・循環といった元素の移動に関わる現象を概説する。	地球資源科学 (EE31611) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	
EE31672	地球資源科学演習	2	1.0	3・4	春AB	月2	第一エリア	丸岡 照幸, 藤崎 渉	地球資源科学に関する基礎的な、あるいは最新のテーマを取り上げ、計算問題の演習、内外文献の調査、討論を通して、地球資源科学の考え方や実際的な方法を習得する。	地球資源科学演習 (EE31622) を修得済みの者は履修できない。対面			地球学類	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EE31681	鉱物学A	1	1.0	3・4	春AB	金1	第一エリア	黒澤 正紀, 興野 純	ケイ酸塩鉱物を中心に、鉱物の結晶構造や物性などの特徴を体系的に講義し、地球科学上の諸現象との関連も含めて具体的に解説する。	鉱物学 (EE31631) を修得済みの者は履修できない。 オンライン(オンデマンド型)			地球学類	○
EE31691	鉱物学B	1	1.0	3・4	秋AB	金1	第一エリア	興野 純, 黒澤 正紀	鉱物及び組織の生成機構、結晶構造の構成原理、物性発現機構に関する内容を体系的に講義し、地球科学上の諸現象との関連も含めて具体的に解説する。	鉱物学 (EE31631) を修得済みの者は履修できない。 実務経験教員 対面			地球学類	
EE31692	岩石学・鉱物学演習	2	1.0	3・4	春AB	月4	第一エリア	興野 純, 池端 慶, 角替 敏昭	岩石学と鉱物学に関する基礎的な、あるいは最新のテーマを取り上げ、内外文献の調査、討論を通じて、岩石学と鉱物学の考え方と実際的な方法を習得する。	岩石学・鉱物学演習 (EE31602) を修得済みの者は履修できない。 実務経験教員 対面			地球学類	

生命環境学際プログラム(生命環境学群G30)

生命環境学群G30

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EG02011	Physics	1	1.0	1	秋AB	木4	第二エリア	ネヴェス マルコス アントニオ、粉川 美踏	Introduction to physics for life and environmental sciences. Basic areas of mechanics, thermodynamics, and waves will be covered.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G30)	
EG02021	Mathematics	1	1.0	1	秋AB	金5	第二エリア	トファエル アハメド	Introduction to mathematics for life and environmental sciences covers application of calculus using applied differentiation and integration, logarithmic and exponential functions. First order differential equations, matrix and probability. This course emphasizes to solve problems related to life and environmental sciences using a wide array of mathematical solutions.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G31)	
EG02031	Statistics	1	1.0	2	秋C	火2.金1	第二エリア	アーヴィング ルイス ジョン	Introduction to statistics for life and environmental sciences.	英語で授業。対面 講義の一部で対面実施を検討しており、履修に際し、適宜、最新のシラバスやmanaba等の情報を確認してください。 COVID-19の感染状況等により授業形態や授業内容を変更する可能性があります。			生命環境学際プログラム(生命環境学群G32)	
EG02041	Advanced Mathematics	1	1.0	2	春AB	木6	第二エリア	トファエル アハメド	In this course, students will have a short review of applied calculus and introduces with the advanced mathematics sections like geometrical meaning of differential equations, solution of ordinary and partial differential equations, numerical analysis and Laplace transformation. These advanced mathematical skills will be invaluable to them to interpret the concepts of modeling of real world problems related to life and environmental sciences.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G33)	
EG02211	Chemistry I	1	1.0	1	秋A	火・金6	第二エリア	康 承源	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G34)	
EG02221	Chemistry II	1	1.0	1	秋B	火・金6	第二エリア	康 承源	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G35)	
EG02231	Chemistry III	1	1.0	1	秋C	火5.木6	第二エリア	康 承源	Introduction to general chemistry for life and environmental sciences.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G36)	

生物資源学類G30

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EG50011	World Food and Agriculture	1	1.0	1	春AB	月2	第二エリア	康 承源	This course introduces crop plants, domestic animals and their production in the world, in relation to economic and environmental issues.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G51)	
EG50041	Biochemistry	1	2.0	2・3	春AB	木4.5		木村 圭志、草野 都、竹下 典男、柳 沢 裕美	Advanced biochemistry covers a wide area including molecular cell biology, molecular genetics, biotechnology, metabolism, and relates all current biological sciences. In this year, experts of three major classes of the organisms (microorganisms, plants, animals) give lectures from the professional points of view. This course provides an introduction to biochemistry for the undergraduates who are able to learn basic to applied knowledge of life and environmental sciences.	英語で授業。オンライン(オンデマンド型)			生命環境学際プログラム(生命環境学群G52)	○
EG50061	Vegetation Ecology	1	1.0	2・3	秋C	集中		川田 清和、津田 吉晃、上條 隆志	Vegetation is a basic component that characterizes land areas and needs to be properly understood in order to realize sustainable use of biological resources. The purpose of this lecture is to understand the basics of vegetation and to understand the sustainable use of vegetation. The lecture will cover not only Japanese vegetation but also vegetation throughout the world such as tropical forests and deserts.	英語で授業。1/19, 1/20 対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G53)	
EG60022	Seminar in Biosystems Engineering and Technology	2	3.0	3・4	秋ABC	月2.3	第二エリア	北村 豊、ネヴェス マルコス アントニオ、トファエル アハメド、中嶋 光敏	生物資源の利活用における技術や工学の体系すなわちBiosystems Engineeringに関する専門的かつ最新の研究や知見を、論文の概要作成やプレゼンテーションなどの演習を通じて学習する。	授業の多くを京都大学・国立台湾大学との共同・オンライン(英語)により行う。EC33682を修得済みの者は履修できない。EC33692と同一。英語で授業。遠隔授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G54)	
EG60071	Food Functionality	1	1.0	3・4	秋C	火5.6	第二エリア	磯田 博子、Ferdousi Farhana、高橋 真哉	Lectures will cover the topics in advanced food functionality including anti cancer, anti allergy, anti stress, anti obesity, neuronal regulation, melanogenesis regulation and the bioavailability of functional food factors.	Same as EC31391 英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G55)	
EG60121	Food Process Engineering	1	1.0	3・4	春AB	水3	第二エリア	ネヴェス マルコス アントニオ、粉川 美踏	This course introduces basic principles of fluid flow, heat transfer, and mass transfer phenomena, along with the application of these principles to the unit operations most commonly used in food processing, such as thermal processing, cooling, freezing, centrifugation, filtration, drying, size reduction and emulsification.	Same as EC42021 英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G56)	
EG60161	Environmental Colloid Engineering	1	1.0	3・4	春C	火5.6	第二エリア	小林 幹佳	Applications of colloid and interface science to environmental issue and its basis are given. Focus will be placed on the flocculation which is important to control soil and water quality. Current topics related to microbiology and ecosystem will be lectured.	EC33361と同一。英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G57)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EG60232	Seminar in Applied Biological Chemistry	2	2.0	3・4	春AB	金5,6	第二エリア	野村 名可男	The purpose of the course is to introduce and discuss the applied life sciences related to biochemistry of plant molecules, molecular and developmental biology, biology for gene regulations, ecological molecular microbiology, biomimetic chemistry, bioreaction engineering.	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 対面 Not open in 2025			生命環境学際プログラム(生命環境学群G58)	
EG60272	Seminar in Quantitative Food Economics	2	2.0	2・3	秋C	月3-6	第二エリア	首藤 久人	Exercises in estimation of food production and consumption based on economic theories, and discussions are performed to analyze the factors controlling supply and demand of foods.	英語で授業。 対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G59)	
EG60361	Introductory Microbiology	1	1.0	2・3	秋C	木3,4	第二エリア	Utada Andrew S	This course will introduce students to microbiology starting with a historical perspective of their discovery, moving into diversity and classifications of microorganisms. We will discuss bacterial anatomy, growth, metabolism, isolation and culture of environmental organisms and screening. We will explore how microorganisms have been used and are currently used industrially, their role in global element cycles, and bio-remediation. Finally, we will address the central dogma, bacterial genetics and gene regulation, and select topics towards the end of course.	英語で授業。 対面 unless otherwise indicated.			生命環境学際プログラム(生命環境学群G60)	
EG60411	Biomaterial Science	1	1.0	3・4	秋AB	火2	第二エリア	江前 敏晴, 中川 明子, 小幡谷 英一	Fundamentals and applications of paper science and papermaking engineering will be provided and they cover chemical structures of polysaccharides constituting fibers, pulping methods for extracting fibers from wood, papermaking technology such as beating, forming, calendaring and coating, and geometrical, mechanical, optical, water-related properties of paper as well as biomass plastics to replace petroleum-resourced plastics and latest research topics.	英語で授業。 対面。 interdepartmental course			生命環境学際プログラム(生命環境学群G61)	
EG60421	Soil and Water Bio-Engineering	1	1.0	3	春C	集中		山下 祐司	The course will focus on discussing the science, technology and engineering for achieving sustainable soil and water systems. We will also cover several important, emerging topics related to bio-engineering for sustainable soil and water management.	英語で授業。 対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G62)	
EG60491	Elementary Applied Thermodynamics	1	1.0	2・3	春AB	月4	第二エリア	Utada Andrew S	Thermodynamics is one of the most fundamental subjects with direct implications for biology and the environmental sciences. Through these lectures, we will explore elementary thermodynamics from the perspective of how these ideas can be applied in the life and environmental sciences. Lectures will begin from the concept of equilibrium systems with an example of Brownian motion. Later, we will delve into the first and the second laws of thermodynamics addressing the concept of Gibbs free energy and chemical potential. Many examples will be cited from colloid and interface science. This course will prove useful for those interested in environmental colloid science, biophysics and bioengineering, and applied microbiology.	英語で授業。 対面 unless otherwise indicated.			生命環境学際プログラム(生命環境学群G63)	
EG60551	Water Resources Management Engineering	1	1.0	3・4	春C	火1,2	第二エリア	石井 敦	This lecture aims to provide a fundamental understandings of water resources by giving introductory hydraulics and hydrology, natures of river flow, water use in various sectors with a special focus on irrigation, water resources development and management, hydrologic statistics, as well as institutional system for water.	Students are graduating on 31 Aug. have to contact an instructor. 英語で授業。 対面。 interdepartmental course			生命環境学際プログラム(生命環境学群G64)	
EG60571	Introduction to Industrial Ecology	1	1.0	3	春AB	火2	第二エリア	ヤバール ヘルムート	One of the biggest challenges societies face is decoupling economic growth from environmental pressure within the limits of the earth's carrying capacity. The highly inefficient use of natural resources from extraction to final disposal produces wastes and releases to air, water and soil. This course introduces the mechanisms and tools necessary to overcome this challenge through Industrial Ecology (IE). IE focuses on promoting industrial activities similar to processes in nature. This is achieved by optimizing energy and material resource use while minimizing and/or avoiding waste and pollution release. The course outlines the tools to achieve this goal including resource use optimization through the 3R Initiative, Life Cycle Assessment, and Material Flow Analysis. The course will also address the technical and management aspects including Environmental Management Systems, Cleaner Production and Design for Environment. At the end of the course the student will develop analytical skills and learn the tools necessary to design and implement solutions to the current production and consumption patterns.	英語で授業。 対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G65)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EG60621	International Agricultural and Forestry Policies II	1	1.0	2・3	夏季休業中	集中		首藤 久人, 飯山みゆき, 石崎 涼子	Lectures will cover the topics in policies for agriculture, food, forestry, and environmental management related to agriculture and forestry in the world.	English Program Students who had received credits from EG60201 are not allowed. 西暦奇数年度開講。EC34381と同一。英語で授業。実務経験教員。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G66)	
EG60631	Satellite Remote Sensing	1	1.0	2 - 4	秋C	火3.4	第二エリア	奈佐原 顕郎	Satellite remote sensing is a technology to observe Earth by artificial satellites in the space. We learn overview of its basics and its recent outcomes which highlight the escalating risks of the global environment changes.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G67)	
EG60641	Precision Agriculture Technology	1	1.0	2・3	春AB	金5	第二エリア	トファエル アハメド	Lectures will cover the topics of precision agricultural technology. Recent advancements in the agricultural field of automation, satellite remote sensing, and GIS. The Bigdata analytics, IoT in agriculture and machine learning systems are used in medium to large scale of agricultural production. The outdoor agricultural mechanization to indoor plant growth monitoring and machinery utilization are the core subjects of this course. Through this course students will get exposure of large satellite remote sensing systems for agriculture. UAV-based crop monitoring and IoT advancements in agriculture.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G68)	
EG60651	Organic Chemistry	1	3.0	2	通年	火1	第二エリア	梶山 幹夫	Basic structure and reactions of organic compounds are explained on the electronic theory.	1年次の春学期から受講すること。2026年度以降開講なし。英語で授業。対面。interdepartmental course			生命環境学際プログラム(生命環境学群G69)	
EG60661	Renewable Energy and Bioresource Recycling Technologies	1	2.0	3	秋AB	金3.4	第二エリア	北村 豊, ネヴェス マルコス アントニオ, 雷 中方, 中嶋 光敏, 原田	生物資源の高度利用の一環として、バイオマスのエネルギーや素材への変換や利用技術について解説する。また自然エネルギーに関する最新技術や普及動向などについても言及して、再生可能エネルギーを活用する資源循環型社会の構築について考察する。	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。EC3281, EC33041 を修得済みの者は履修できない。EC33651と同一。英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G70)	
EG60663	Fundamental Environmental Engineering Laboratory	3	1.0	2	春AB	金5.6	第二エリア	中川 明子, 内海 真生, 小林 幹佳, ネヴェス マルコス アントニオ, 雷 中方, 梶山 幹夫, 杉本 卓也, 原田, 粉川 美踏, 小幡谷 英一, 山下 祐司	水, 土, 圃場, 森林, 大気などの生産環境やバイオマス, 食品などの生物資源を対象として、これらの特性を明らかにする諸理論, 試験, 計測, 解析のための基礎的手法を理解・習得する。また実験を通して、環境工学的なアプローチや科学技術研究における問題の発見とその解決のための実践的能力を養成する。	生物資源学類生に限る(受入上限数30名)。EC23113, EC23113, EC23123を修得済みの者は履修できない。EC23133と同一。対面	△	「関連講義」の履修を条件とする場合がある。受講者数に余裕がある場合に限る。	生命環境学際プログラム(生命環境学群G71)	
EG60671	Food Safety Control and Quality Evaluation	1	2.0	3	秋AB	水5.6	第二エリア	粉川 美踏, 北村 豊, ネヴェス マルコス アントニオ, 内海 真生, 中嶋 光敏	農産物や食品の物理・生化学的的特性, 健康機能性および加工流通のためのポストハーベスト・食品加工の技術を学習する。また食品の安全安心のための基礎知識やマネージメントシステム, 関係法令や認証制度についても解説する。	国立台湾大学とのジョイント講義(一部遠隔授業)。(コース共通)環境工学コース社会経済学コースEC35091と同一。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G72)	
EG60681	Contemporary Concepts of Inheritance	1	1.0	3・4	秋AB	木2	第二エリア	フザス ディアナ ミハエラ	More than a century after Darwin and Mendel, and half a century after the discovery of DNA, the idea that biology is dominated by genes is being challenged. Instead, what is experienced within a generation ("the environment") could also affect what is carried the next generation, as predicted early on by Lamarck. To create an outlook of the current ideology around inheritance, this course introduces the molecules and operating principles in genetic and epigenetic inheritance while looking at the methodological strategies leading to their discovery (especially role of model systems). The phenomena exemplified will expose a variety of aspects, from technologies currently penetrating into the society (PCR, CRISP CAS9 etc), issues of high interest (human evolution and disease, genetically modified crops etc) all the way to hypothetical views on new areas where epigenetic inheritance plays a role (especially human culture) and ethics.	Students in any departemnt (even outside biology) can take the course. Limited to 30 students. 英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G73)	
EG60691	システム生物工学	1	1.0	3	春C	火3.4	第二エリア	應 蓓文, Utada Andrew S, 竹下 典男	(物)生物の振る舞いを定量的に理解するための原理, 技術と応用を学ぶ。生物学, 工学, 情報科学, 数理統計学など分野横断型の知の融合を理解する。	日本語と英語, 両方で講義する。EC32201と同一。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G74)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EG60701	Bioprocess Engineering	1	1.0	3	春AB	金3	第二エリア	野村 名可男	生物プロセス工学の視点から、動物細胞工学の基礎知識である、哺乳類動物細胞の培養の意義、細胞の増殖制御機構の特性、細胞周期、増殖促進因子の情報伝達、細胞外足場の作用機序、細胞の不活化、癌化の発生機構、再生医療への応用について概説する。また、生物プロセス工学で扱う、環境生物工学の基礎知識についても概説する。これにより、汎用性の高い生物プロセス工学の基本的な学問手法や対象の多様性について修得する。	横断領域科目「環境」EC32071、EC32111、EG60581、EG60111を修得済みの者は履修できない。EC32221と同一。英語で授業。6科目、対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G75)	

地球学類G30

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	完全オンライン
EG70013	地球学基礎実験	3	1.0	1	春AB	木4,5	第一エリア	藤野 滋弘, ドアン グアン ヴァン, UMAM Rofiqui, 田中 康平, 松井 圭介, 山下 亜紀郎, 池端 慶, 興野 純, 黒澤 正紀, 丸岡 照幸, 池田 敦	本実験では、様々な分野の演習を行い、学生が地球科学を研究するための基本的な手法や技術を学ぶ。	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G74)	
EG70021	地球環境学入門	1	1.0	1	秋AB	金1	第二エリア	八反地 剛, 日下 博幸, 呉羽 正昭, 加藤 弘亮, 森本 健弘, 植田 宏昭, UMAM Rofiqui	Earth's environment is the main topic of this lecture. Emphasis is on the geoscientific aspects and features in the atmosphere, hydrosphere, topography, and human society among others are discussed.	英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G75)	
EG70031	地球と生命の進化	1	1.5	1	秋ABC	火1	第二エリア	興野 純, 氏家 恒太郎, 八木 勇治, 奥脇 亮, 鎌田 祥仁, 角替 敏昭, 藤野 滋弘, 丸岡 照幸, 田中 康平, 上松 佐知子	This lecture introduces 4.6 billion years evolution of the earth, mainly focusing on the evolution of solid earth, and the birth and evolution of life.	英語で授業。対面 This class is taught by several teachers. This class may be switched from face-to-face to online depending on the spread of infection and immigration status.			生命環境学際プログラム(生命環境学群G76)	
EG90211	自然災害論	1	1.0	2・3	秋AB	金1	第二エリア	ドアン グアン ヴァン, 池端 慶, 恩田 裕一, 八反地 剛, 辻村 真貴, 関口 智寛, 山下 亜紀郎, 池田 敦, 八木 勇治, 藤野 滋弘	自然災害の種類、原因、歴史的災害及び最近の災害について概観し、今後の災害予測や防・減災について考える。	内容については英語のシラバス参照。西暦奇数年度開講。英語で授業。6科目、対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G77)	
EG91081	環境水文学	1	1.0	2・3	春AB	水6	第二エリア	山中 勤, 浅沼 順, 辻村 真貴, UMAM Rofiqui	Basics on the hydrologic cycle are introduced. In addition, hydrologic aspects on environmental problems and ecology are discussed.	Prerequisite: Introduction to Geoenvironmental Science (or permission by the instructor). Priority for degree students of the School of Life and Environmental Sciences. 英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G78)	
EG91141	人文地理学・地誌学	1	1.5	2・3	秋ABC	木4	第二エリア	松井 健一, 松井 圭介, 久保 倫子	This course introduces subjects and fundamentals of the human and regional geography by presenting actual examples of Japan and other regions of the world. Following the introduction of basic concepts of human geography, features of various regions will be explained from viewpoints of rural, urban, commercial, political, religious, recreational and ethnic geographies.	英語で授業。対面(オンライン併用型) オンラインは全授業の50%以下			生命環境学際プログラム(生命環境学群G79)	
EG91161	地形プロセス学	1	1.0	2・3	春AB	金4	第二エリア	池田 敦, 関口 智寛, 八反地 剛	地形について、それを変化させる物理過程に着目して解説する。とくに、地殻変動、河川・波・氷河の作用、風化やマスマーブメントを採り上げる。	Offered in odd number years. Prerequisite: Both of "Introduction to Geoenvironmental Science" and "Introduction to Earth Evolution Science". 西暦奇数年度開講。英語で授業。対面(オンライン併用型)			生命環境学際プログラム(生命環境学群G80)	
EG92021	無機地球化学	1	1.0	2・3	春AB	火2	第二エリア	丸岡 照幸, 藤崎 渉	This course aims to introduce students to the chemical feature of our planet and basic principles for geochemistry and mineral chemistry.	西暦奇数年度開講。英語で授業。対面			生命環境学際プログラム(生命環境学群G81)	